

第三次沖縄県生涯学習推進計画

令和2年度生涯学習関連事業実績及び
令和3年度生涯学習関連事業実績見込み一覧

沖縄県生涯学習推進本部
事務局 沖縄県教育庁生涯学習振興課

目次

[I]令和2年度生涯学習関連事業実績及び令和3年度生涯学習関連事業実績見込み一覧	
第1部 生涯学習推進計画の基本的な考え方	
第2章 生涯学習推進の基本方向	
第1節 生涯学習の場の活性化	1
1. 学校における教育力の向上	1
第2部 生涯学習推進の具体的取組	
第1章 学校支援によるまちづくりの推進	
第1節 「学校支援」を足がかりとした「地域コミュニティづくり」の推進	2
第2章 県の生涯学習の推進	
第1節 家庭教育の充実	3
第2節 文化活動の推進	8
第3節 国際交流・協力の推進	14
第4節 福祉と安全のまちづくり	17
第5節 郷土の自然及び環境学習の推進	20
第6節 健康づくり・スポーツ活動の推進	24
第7節 男女共同参画の推進	28
第8節 ボランティア活動の推進及び産業に関連した学習機会の提供	29
第3部 生涯学習実施機関の充実	
第1章 生涯学習推進センターの充実	
第1節 沖縄県生涯学習推進センターの機能充実	35
第2章 生涯学習実施機関における「学び」のあり方(社会教育施設の充実)	
第1節 読書活動及び図書館の充実	38
第2節 青少年施設と体験活動の充実	39
第3節 博物館・美術館等の活用	40
第4節 平和祈念資料館の活用	41
第5節 公民館等施設の充実	42
第4部 生涯学習社会をささえる	
第4節 社会教育関係団体等との連携	43
[II]平成30年度以降廃止及び終了事業・平成31年度(令和元年度)以降新規事業一覧	44
[III]資料	
令和3年度各課室別 生涯学習関連事業の実施状況	48
令和3年度各課室別 生涯学習関連事業の実施事業名	49
令和3年度生涯学習推進計画(部・章・節)別 生涯学習関連事業の実施事業名	53
沖縄県生涯学習推進本部構成課・室(令和3年度)	56

〔I〕令和2年度生涯学習関連事業実績及び令和3年度生涯学習関連事業実績見込み一覧

第1部 生涯学習推進計画の基本的な考え方

第2章 生涯学習推進の基本方向

第1節 生涯学習の場の活性化

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
1 部 2 章 1 節	1	学校施設の整備	安全で快適な生涯学習に必要な施設の実現を図るため、校舎等の増改築、水泳プール・運動場等の整備を推進する。	①R2年4月～R3年3月 ②高校生・特別支援学校生 ③学校施設等の整備、校舎等の増改築 ④ ⑤県教育委員会 ⑥学習環境の改善 ⑦老朽校舎等施設の改修・改築	①R3年4月～R4年3月 ②高校生・特別支援学校生 ③学校施設等の整備、校舎等の増改築 ④ ⑤県教育委員会	教育庁施設課

1. 学校における教育力の向上

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
1 部 2 章 2 節	2	総合教育情報ネットワーク整備推進事業	学校教育分野、社会教育分野及び教育行政分野の3分野における各データベースを構築するとともに、有機的に連携する。 学校教育分野においては、IT教育センターを中核として全ての公立学校を共通のネットワーク環境に置くことにより、教育情報の提供や情報交流等のサービス向上など、効果的な教育を行う環境を整備促進する。	1. 教育情報共有システムの運用 ①R2. 4. 1～R3. 3. 31、県立総合教育センター ②県内公立学校の教職員 ③IT教育センターが管理運営している「教育情報管理システム」には2万7千点以上のデジタル教材等が蓄積されており、インターネットを通しての活用を可能とすることにより、学校等における学習活動を支援する。 ④不特定 アクセス数は13万8653件 ⑤県立総合教育センター ⑥本システムの運用を継続し、保有するコンテンツを精選することで、活用の充実が図られた。さらなるコンテンツの見直しを行い、使いやすい環境を構築する。 2. 県教育委員会Webサイトの運用 ①R2. 4. 1～R3. 3. 31、教育支援課 ②県民 ③県教育委員会のWebサイトを継続運営し、施策等への取り組み状況を県内外に発信する。社会教育に関する事業、施設等の情報を公開し、諸サービスの活用促進を図る。 ④不特定 アクセス数は約415万4千件 ⑤県教育委員会 ⑥教育委員会の取組を県民に向けて迅速に広報することができた。	1. 教育情報共有システムの運用 ①R3. 4. 1～R4. 3. 31、県立総合教育センター ②県内公立学校の教職員 ③IT教育センターが管理運営している「教育情報共有システム」には、2万7千点以上のデジタル教材等が蓄積されており、インターネットを通しての活用を可能とすることにより、学校等における学習活動を支援する。 ④不特定 ⑤県立総合教育センター 2. 県教育委員会Webサイトの運用 ①R3. 4. 1～R4. 3. 31 ②県民 ③県教育委員会のWebサイトを継続運用し、施策等への取り組み状況を県内外に発信する。社会教育に関する事業、施設等の情報を公開し、諸サービスの活用促進を図る。 ⑤県教育委員会	教育庁教育支援課

第2部 生涯学習推進の具体的取組

第1章 学校支援によるまちづくりの推進

第1節 「学校支援」を足がかりとした「地域コミュニティづくり」の推進

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 1 章 1 節	3	地域学校協働活動推進事業 (旧：学校支援地域本部事業)	地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互に連携・協働して実施する様々な活動を推進する。地域と学校の連携体制の基盤となる「地域学校協働本部」の体制整備を図り、地域コーディネーターを中心に、PTA、自治会等関係者、ボランティア等、幅広い地域住民の参加を得て活動を展開していく。地域住民は活動を通して地域のきずなを深めるとともに、地域と学校が連携・協力することで、自らの経験や知識を学校教育で活用でき、地域の教育力を活性化することができる。	1. 沖縄県学校・家庭・地域の連携協力推進事業 (1)推進委員会 ①第1回令和2年9月7日(県庁13階会議室) 第2回コロナ禍により中止(資料提供のみ) ②推進委員 ③学校・家庭・地域の連携協力推進事業について協議する ④推進委員 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥本事業の推進に係る助言等が得られ、各市町村への取組への一助になった。 (2)ボランティア研修会 ①令和3年2月24日～3月12日(オンデマンド配信) ②地域学校協働活動のボランティア等 ③実践発表(地域学校協働活動、家庭教育支援チーム) ④地域学校協働活動のボランティア等 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥実践発表から学び、今後の活動への工夫や意欲につながった。 (3)教育講演会 ①令和3年2月24日～3月12日(オンデマンド配信) ②地域学校協働活動関係者等 ③講話(地域学校協働活動) ④地域学校協働活動関係者等 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥講話を通して、事業関係者の資質向上になった。 2. 地域学校協働本部 ①R2年4月～R3年3月・各市町村 ②学校及び地域住民 ③学習支援(読み聞かせ含む)、登下校時の安全指導、部活動指導、環境整備、学校行事の補助 ④19市町村83地域学校協働本部(232校) ⑤各学校地域学校協働本部 ⑥子どもたちの学力や規範意識、コミュニケーション能力の向上につながった。教員が授業や生徒指導などに、より力を注ぐことができた。地域住民の生きがいがづくりや自己実現につながった。	1. 沖縄県学校・家庭・地域の連携協力推進事業 (1)推進委員会 ①第1回令和3年9月28日(県庁13階会議室) 第2回コロナ禍により中止(資料提供のみ) ②推進委員 ③学校・家庭・地域の連携協力推進事業について協議する ④推進委員 ⑤沖縄県教育委員会 (2)コーディネーター研修会 ①令和4年2月10日(ZOOM開催) ②地域学校協働活動推進、コーディネーター等 ③講話(行政の取組事例、学校の取組事例) トークセッション ④地域学校協働活動推進、コーディネーター等 ⑤沖縄県教育委員会 (3)ボランティア研修会 ①令和4年2月17日(ZOOM開催) ②地域学校協働活動のボランティア等 ③実践発表(社会教育士、コーディネーター) ④地域学校協働活動のボランティア等 ⑤沖縄県教育委員会 (4)教育講演会 ①令和4年2月24日(ZOOM開催) ②地域学校協働活動関係者等 ③講話、ワークショップ ④地域学校協働活動関係者等 ⑤沖縄県教育委員会 2. 地域学校協働本部 ①R3年4月～R4年3月。各市町村 ②学校及び地域住民 ③学習支援(読み聞かせ含む)、登下校時の安全指導、部活動指導、環境整備、学校行事の補助 ④21市町村89地域学校協働本部(256校) ⑤各学校地域学校協働本部	教育庁 生涯学習振興課

第2章 県の生涯学習の推進

第1節 家庭教育の充実

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 1 節	4	家庭児童相談事業	家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭における児童養育の技術に関する事項、児童に係る家庭の人間関係等の相談に応じる。	①令和2年4月～令和3年3月 県福祉事務所（北部、中部、南部、宮古及び八重山）及び市福祉事務所（那覇市ほか9市） ②子ども本人や保護者、その家族等 ③家庭児童福祉に関する専門的技術を必要とする相談指導業務等 ④沖縄県家庭児童相談室及び各市家庭児童相談室 ⑤子どもや家庭への援助を行うことにより、子どもの福祉を図れたとともにその権利の擁護に繋がった。	①令和3年4月～令和4年3月 県福祉事務所（北部、中部、南部、宮古及び八重山）及び市福祉事務所（那覇市ほか9市） ②子ども本人や保護者、その家族等 ③家庭児童福祉に関する専門的技術を必要とする相談指導業務等 ④沖縄県家庭児童相談室及び各市家庭児童相談室	子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課
	5	家庭教育支援者研修会	社会教育指導員、民生委員・児童委員、教育相談員、青少年育成指導者等家庭教育支援に関わる方を対象に、知識やスキルの向上を図る研修会を行う。	①令和3年2月24日～3月31日（オンデマンド配信） ②市町村担当者・教育関係者等 ③講話（子供の能力を引き出す接し方） ④市町村担当者・教育関係者等 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥家庭教育支援者に対し知識やスキルの向上が図られた	① ・第1回令和3年10月4日（ZOOM開催） ・第2回令和3年12月8日～令和4年1月31日（オンデマンド配信） ・第3回令和4年1月14日（ZOOM開催） ・第4回令和4年1月28日（ZOOM開催） ②市町村担当者・教育関係者等 ③ ・第1回「ヤングケアラーの理解」 ・第2回「ヤングケアラーの理解」 ・第3回「発達障害について」 ・第4回「性の多様性」 ④市町村担当者・教育関係者・保護者・県民等 ⑤沖縄県教育委員会	教育庁 生涯学習振興課
	6	家庭教育力促進「やーなれー」事業	基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上など家庭教育力の改善充実のため、家庭教育支援体制を確立する。	①令和2年4月～令和3年2月末、各開催会場及びリモート開催 ②市町村担当者・教育関係者等 ③家庭教育支援に関するテーマをスクール形式やワークショップ形式での開催 ④市町村担当者・教育関係者・保護者・県民等 ⑤主催：沖縄県教育委員会生涯学習振興課 ⑥家庭教育支援者に対し知識やスキルの向上に貢献した	①令和3年4月～令和4年2月末、各開催会場及びリモート開催 ②市町村担当者・教育関係者等 ③家庭教育支援に関するテーマをスクール形式やワークショップ形式での開催 ④市町村担当者・教育関係者・保護者・県民等 ⑤主催：沖縄県教育委員会生涯学習振興課	教育庁 生涯学習振興課
	7	母子家庭等自立促進事業	日常抱えている諸問題の解決を図るために、弁護士、養育費専門相談員による相談を行う。	①期間・場所：令和2年4月～令和3年3月 母子家庭等就労・自立支援センター ②対象者：ひとり親家庭等 ③内容方法：弁護士、専門員による相談 ④参加者等（実施数）：弁護士 70件、専門員 383件 ⑤実施団体：公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会 ⑥概要：ひとり親が抱える諸問題の解決につながった。	①期間・場所：令和3年4月～令和4年3月 母子家庭等就労・自立支援センター ②対象者：ひとり親家庭等 ③内容：弁護士、専門員による相談 ④参加者等（実施予定数）：弁護士 70件、専門員 350件 ⑤実施団体：公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会	子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 1 節	8	母子家庭等自立促進事業（就労支援講習会）	パソコンや介護職等の技能習得のための無料講習会の実施する。	①期間・場所：令和2年4月～令和3年3月 母子家庭等就労・自立支援センター等 ②対象者：ひとり親家庭等 ③内容：パソコン、介護職員初任者研修等 ④参加者等(実施数)：91名 ⑤実施主体：公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会 ⑥概要：資格取得による就職、転職、就労の継続、勤務条件の改善につながった。	①期間・場所：令和3年4月～令和4年3月 母子家庭等就労・自立支援センター等 ②対象者：ひとり親家庭等 ③内容：パソコン、介護職員初任者研修等 ④参加者等(実施予定数)：91名 ⑤実施主体：公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会	子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課
	9	母子家庭等自立促進事業（ひとり親家庭等生活向上事業）	ひとり親家庭の生活基盤の一層の安定を図るため、各種講習会、子育て、しつけ等の講座などを実施し、福祉の向上を図る。	①期間・場所：令和2年4月～令和3年3月 母子家庭等就労・自立支援センター等 ②対象者：ひとり親家庭等 ③内容：しつけ、育児等に関する講座 ④参加者等(実施数)：152名 ⑤実施主体：公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会 ⑥概要：知識の習得に加え、ひとり親家庭同士の情報交換の契機となった。	①期間・場所：令和3年4月～令和4年3月 母子家庭等就労・自立支援センター等 ②対象者：ひとり親家庭等 ③内容：しつけ、育児等に関する講座 ④参加者等(実施予定数)：152名 ⑤実施主体：公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会	子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課
	10	スクールカウンセラー配置事業	学校の教育活動全体を通じて、幼児児童生徒一人一人にこれからの社会に主体的に対応できる資質や能力を養い自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」の育成を図る。また、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開するとともに、生涯にわたる学習の基礎を培い、豊かな心を持ち、たくましく生きる人材を育成するため、基礎・基本の確実な定着を図り、個を生かす教育の充実に努める。	1. スクールカウンセラー配置事業 ①4月～3月、スクールカウンセラーの配置校 ②児童生徒、教職員、保護者等 ③学校における児童生徒理解及びカウンセリング等の教育相談体制の充実を図る。 ④配置学校 小学校：260校、中学校：142校、特別支援学校：17校、高等学校：52校、計472校 ⑤県教育委員会 ⑥全小中学校への配置及び各学校への配置時間数の拡充を図ることができた。	1. スクールカウンセラー配置事業 ①4月～3月、スクールカウンセラーの配置校 ②児童生徒、教職員、保護者等 ③学校における児童生徒理解及びカウンセリング等の教育相談体制の充実を図る。 ④配置学校 小学校：259校、中学校：141校、特別支援学校：17校、高等学校：56校、計473校 ⑤県教育委員会	教育庁 義務教育課
	11	親子電話相談事業	家庭教育に関する悩みや不安を抱く保護者、友人関係で悩む子ども等への支援を図るため電話相談を行う。	①相談時間：月～土（9:00～22:00） ※相談時間外（22:00～翌日9:00、慰霊の日、日曜日、祝日、年末年始）は「24時間子供SOSダイヤル」が対応。 ②相談体制：電話相談員4人がローテーションを組んで対応。昼・夜それぞれ1人配置 ③電話相談 ④1,238件 ⑤県教育委員会 ⑥多様な相談に対応できるよう、臨床心理士による定期的な研修会を10回実施した。また、関係機関との連携を図り、情報共有等で相談者の支援を行った。	①相談時間：月～土（9:00～22:00） ※相談時間外（22:00～翌日9:00、慰霊の日、日曜日、祝日、年末年始）は「24時間子供SOSダイヤル」が対応（所管は義務教育課）。 ②相談体制：電話相談員4人がローテーションを組んで対応。昼・夜それぞれ1人配置 ③電話相談 ④1,500件前後 ⑤県教育委員会	教育庁 生涯学習振興課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 1 節	12	家庭支援相談事業（児童相談所）	24時間・365日体制の児童虐待ホットラインを設置し、児童虐待の予防、早期発見並びに家庭及び地域における児童養育機能を支援する。（おきなわ虐待ホットライン）	①令和2年4月～令和3年3月・中央児童相談所 ②子ども本人や保護者、その家族等 ③電話による相談支援活動 ④子ども本人や保護者、その家族等 ⑤沖縄県中央児童相談所 ⑥児童虐待等の早期発見・早期対応及び未然防止	①令和3年4月～令和4年3月・中央児童相談所 ②子ども本人や保護者、その家族等 ③電話による相談支援活動 ④子ども本人や保護者、その家族等 ⑤中央児童相談所	子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課
	13	地域子育て支援拠点事業	乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。	①令和2年4月～令和3年3月 ②地域の子育て家庭 ③市町村が実施する地域子育て支援拠点事業等に対して支援した。 ④94か所 ⑤各市町村 ⑥地域のニーズに応じた事業の実施を支援することにより、子育て支援機能の充実を図ることができた。	①令和3年4月～令和4年3月 ②地域の子育て家庭 ③市町村が実施する地域子育て支援拠点等に対し支援する。 ④95か所 ⑤各市町村	子ども生活福祉部子育て支援課
	14	子育て総合支援モデル事業	子どもの学習の遅れがその後の貧困に繋がることを防止するため、町村教育委員会が認定する準要保護児童及び住民税非課税世帯等の高校生に対する学習支援を行うとともに、親に対する養育支援等を実施する。	①期間・場所：令和2年4月から令和3年3月まで。県内5圏域41箇所を実施。 ②対象者：準要保護世帯の小中学生及び住民税非課税・児童扶養手当受給世帯等の高校生 ③内容・方法：各地域の学習支援教室で学習支援及び養育支援等を実施 ④参加者数：1,003名 ⑤実施団体：特定非営利活動法人等 ⑥成果：高校進学率 中学3年生の約9割 大学等進学率 高校3年生の約8割	①期間・場所：令和3年4月から令和4年3月まで。県内5圏域40箇所を目標に実施。 ②対象者：準要保護世帯の小中学生及び住民税非課税・児童扶養手当受給世帯等の高校生 ③内容・方法：各地域の学習支援教室で学習支援及び養育支援等を実施 ④参加者数：約1,500名目標 ⑤実施団体：特定非営利活動法人等	子ども生活福祉部子ども未来政策課
	15	放課後子ども教室推進事業	放課後や週末等に余裕教室等を活用して、子どもたちの安心・安全な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。	①R2年4月～R3年3月。各市町村の各教室。 ②子ども及び地域住民 ③学習活動、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、交流活動、自然体験活動等 ④19市町村、139教室 ⑤各市町村 ⑥地域住民と子どもの交流が深まり、安全・安心な居場所づくりが図れた。様々な体験活動を通して、子どもの思考力・発想力などが養われた。異年齢の子どもたちの交流活動からコミュニケーション能力の向上が図られた。	①R3年4月～R4年3月。各市町村の各教室。 ②子ども及び地域住民 ③学習活動、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、交流活動、自然体験活動等 ④20市町村、127教室 ⑤各市町村	教育庁生涯学習振興課
16	家庭教育支援事業	市町村や地域において家庭教育を支援する子育て経験者や関係ボランティアで家庭教育支援チームを組織し、家庭への支援活動の充実を図る。	①令和2年4月～令和3年3月末、各市町村会場 ②保護者や親子 ③各市町村が企画している研修会や親子体験活動など。 ④市町村担当者・教育関係者・保護者・親子等 ⑤本事業活用市町村 ⑥家庭教育支援者や保護者、親子に対し知識やスキルの向上に貢献した	①令和3年4月～令和4年3月末、各市町村会場 ②保護者や親子 ③各市町村が企画している研修会や親子体験活動など。 ④市町村担当者・教育関係者・保護者・親子等 ⑤本事業活用市町村	教育庁生涯学習振興課	

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 1 節	17	放課後児童クラブ支援事業	放課後児童クラブの公的施設活用を促進するため、市町村の設置計画策定の支援、公的施設移行までの家賃補助や市町村に対する施設整備補助を行い、放課後児童クラブの環境改善、質の向上、利用料の引下げを図る。また、公的施設移行の可能性の低い民間施設の老朽化等に伴う施設改修経費の助成を行い、環境改善を図る。	①令和2年4月～令和3年3月 ②放課後児童クラブ利用者 ③市町村が実施する公的施設活用放課後児童クラブの施設整備等に対し支援を行った。 ④18クラブ（うち6クラブは繰越） ⑤各市町村 ⑥公的施設を活用した放課後児童クラブを整備したことにより、質の向上や利用量の低減が図られた。	①令和3年4月～令和4年3月 ②放課後児童クラブ利用者 ③市町村が実施する公的施設活用放課後児童クラブの施設整備等に対し支援を行った。 ④12クラブ（うち2クラブは繰越） ⑤各市町村	子ども生活福祉部 子育て支援課
	18	県立青少年教育施設（主催・自主事業）	県立青少年の家は、青少年教育施設であると同時に地域での社会教育移設、生涯学習施設である。利用者に応じた各種主催・自主・受け入れ事業を行い、自主性・社会性・協調性を高めるための体験活動の充実、内容の充実を図る。	①期間：通年 ②対象者：保育園児、幼稚園児、小中高校生、成人 ③内 容：キャンプ、星空観察会、通学合宿、歴史探訪、子ども工作教室、料理教室など ④参加者数：85,850人（県内6施設の主催・自主事業の参加者数） ⑤実施団体：県立青少年の家 ⑥本県の教育施策をもとに行う教育的事業である主催事業と社会的及び利用者の教育的ニーズに対応した自主事業に参加することで、参加者の自主性・社会性・協調性を高めることができる。	①期間：通年 ②対象者：保育園児、幼稚園児、小中高校生、成人 ③内 容：キャンプ、星空観察会、通学合宿、歴史探訪、子ども工作教室、料理教室など ④参加者数：32,386人（県内6施設の主催・自主事業の参加者数 上半期） ⑤実施団体：県立青少年の家	教育庁 生涯学習振興課
	19	沖縄県青少年フレンドシップイン九州	「九州に伝え、九州から学ぶ」をテーマに、九州の青少年と相互交流を図るとともに、規律ある共同生活を通して、自主性及び協調性を養い、青少年の健全育成を図る。	①中止 熊本県を予定していた ②県内の小学生（5・6年生）、中学生（副班長）、高校生（班長） ③九州の青少年との交流・体験活動を通して、自主性及び協調性を養い、青少年の健全育成を図る。 ④小学生（70名）、中学生（10名）、高校生（10名）新型コロナウイルス感染予防の観点から、募集人数を半分に絞って計画したが、中止。 ⑤（公社）沖縄県青少年育成県民会議 ⑥新型コロナウイルスの影響で中止となった。	①11月27日～11月28日（1泊2日） 名護青年の家（オンライン交流） ②県内の小学生（5・6年生）、中学生（副班長）、高校生（班長） ③新型コロナウイルスの影響で九州派遣が困難となったことから、県内での交流活動に変更。熊本の児童生徒とオンラインで交流会を行った。 ④小学生（2名）、中学生（3名）、高校生（13名） ⑤（公社）沖縄県青少年育成県民会議	子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課
20	沖縄県・兵庫県青少年交流事業	両県の児童生徒が歴史文化のふれあい交流で友情の絆を強め、防災学習や体験活動を通して、ふるさとの発展に寄与できるリーダーを養成する。	①令和3年3月13日（オンライン交流） ②県内の小学生（5・6年生）、中学生（副班長）、高校生（班長） ③新型コロナウイルスの影響で兵庫派遣が困難となったことから、県内での交流活動に変更。兵庫の生徒とオンラインで交流会を行った。 ④中学生（5名）、高校生（1名） ⑤（公社）沖縄県青少年育成県民会議 ⑥オンラインでの交流会は初の試みであったが、相互理解を深め、青少年の自主性や協調性の醸成に寄与した。	①令和4年1月9日（オンライン交流） ②県内の小学生（5・6年生）、中学生（副班長）、高校生（班長） ③新型コロナウイルスの影響で兵庫派遣が困難となったことから、県内での交流活動に変更。当初名護で一泊の宿泊研修の予定であったが、新型コロナ感染急拡大を受け、宿泊は中止し、各自自宅からオンラインで繋がり、兵庫県の児童生徒とオンライン交流会のみを行った。 ④小学生（8名）中学生（6名）、高校生（4名） ⑤（公社）沖縄県青少年育成県民会議	子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課	

章 節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 1 節	21	ファミリーキャンプ	季節に応じたキャンプの基本的な活動を通して、野外活動の楽しさを体験するとともに、家族の良さをあらためて考え、力を合わせて取り組む喜びを味わえる機会とする。	① I 5/2 (中止) II 11/21 III 2/6 玉城青少年の家 ②親子 ③野外炊飯、星座観察、クラフト等 ④ I 中止 II 21名 III 21名 ⑤玉城青少年の家 ⑥日頃の家庭生活では体験できないキャンプの楽しさを味わうことで、家族の絆を深め、力をあわせて取り組むことの喜びを味わうことができた。	① I 5/1~2 (中止) 玉城青少年の家 ②家族等の小グループ ③野外炊飯、星座観察、クラフト等 ④ I 16名 II ⑤玉城青少年の家	教育庁 生涯学習振興課
	22	(20. ファミリーキャンプ兼) 自然とふれあう親子の集い	親子キャンプ、野外活動を通して家庭における教育力の向上を支援する。	① I 5/16~17 (中止) II 7/11~12 III 10/17~18 名護青少年の家 ②親子 (3歳以上) ③野外炊飯、星座観察、生物観察、テント設営など ④ I 中止 II 36名 III 27名 ⑤名護青少年の家 ⑥家族間同士の交流を深めることができたと同時に、野外活動におけるコロナ感染防止対策を確認することができた。	① I 5/15~16 II 中止 名護青少年の家 ②親子 (小学生以上) ③野外炊飯、星座観察、生物観察、テント設営など ④ I 16名 II 中止 ⑤名護青少年の家	教育庁 生涯学習振興課
	23	自然とふれあう家族の集い I ~ IV	親子で野外活動を行い、地域の自然に触れることや親子のふれ合いを通して、家庭教育の支援を図る。	① I 4月 (中止) II 7/11~12 III 11/14~15 IV 3/6~7 石川青少年の家 ②親子 ③ファミリーキャンプ、ホテルウォッチング、どんぐり工作、野外料理、カヌー体験、石川岳の自然観察など ④延べ50名 ⑤石川青少年の家 ⑥講座を通して親子や家族間の絆が深まっている。	① I 4/17~18 (中止) II 7/17~18 (中止) III 11/13~14 IV 3/5~6 石川青少年の家 ②親子 ③ファミリーキャンプ、ホテルウォッチング、どんぐり工作、野外料理、カヌー体験、石川岳の自然観察など ④ ⑤石川青少年の家	教育庁 生涯学習振興課
	24	小・中学生いきいき支援事業	小中アシスト相談員を教育事務所に配置し、いじめ、不登校、問題行動等に課題を抱える学校へ集中支援及び巡回支援を行う。	①4月~3月・教育事務所が派遣した学校 ②児童生徒、保護者等 ③いじめ、不登校、暴力行為などの生徒指導上の課題の解決を図る。 ④教育事務所へ配置：57名(派遣先：小中学校134校、小学校75校、中学校59校) ⑤県教育委員会 ⑥小中アシスト相談員の配置拡充が図られた。	①4月~3月・教育事務所が派遣した学校 ②児童生徒、保護者等 ③いじめ、不登校、暴力行為などの生徒指導上の課題の解決を図る。 ④教育事務所へ配置：53名(派遣先：小学校134校、中学校81校、中学校53校) ⑤県教育委員会	教育庁 義務教育課

第2節 文化活動の推進

章 節	事業 No	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 2 節	25	移動博物館	離島を多く抱える本県において、県民が等しく博物館・美術館資料や貴重な文化遺産などに接することにより、「郷土の文化」に対する意識の高揚と普及を図り、離島遠隔地の活性化を促進する。	県立博物館・美術館の「移動展」として美術館班と合同で実施している。令和2年度は渡嘉敷村で開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度に延期とした。	県立博物館・美術館の「移動展」として美術館班と合同で実施している。令和3年度は渡嘉敷村で開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度に延期とした。	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	26	移動美術館	離島を多く抱える本県において、県民が等しく美術作品や教育普及事業プログラムに接することにより、美術作品への関心を高め、離島遠隔地の活性化を促進する。	県立博物館・美術館の「移動展」として博物館班と合同で実施している。令和2年度は渡嘉敷村で開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度に延期とした。	県立博物館・美術館の「移動展」として博物館班と合同で実施している。令和3年度は渡嘉敷村で開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度に延期とした。	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	27	体験学習教室	沖縄の自然、歴史、文化と結びついた体験的な活動によって郷土の自然、文化・伝統への関心を喚起させ、先人の知恵に学ぶ。	①令和2年10月、11月、12月、令和3年1月、2月 沖縄県立博物館・美術館 ②親子一般 ③琉球畳、糸満張り子、漆喰シーサー、紅型、錫工芸、沈金など職人を講師として招聘 ④各回合計130名 ⑤沖縄県、沖縄美ら島財団(指定管理者) ⑥地域素材を活用し郷土の美術文化に親しむ機会の提供	①令和3年4月、11月、12月 沖縄県立博物館・美術館②親子一般 ③沈金、漆喰シーサー、押し花、紅型など職人を講師として招聘 ④各回合計60名 ⑤沖縄県、沖縄美ら島財団(指定管理者)	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	28	文化財愛護事業 (文化財保護強調週間)	県内の児童生徒を対象に、文化財を題材にした図画作品を募集することにより、児童生徒がその製作を通じて文化財に対する理解を深め、文化財保護・愛護思想の高揚を図る。	【「私たちの文化財」図画作品募集】 ①期間：令和2年5月～9月(応募期間) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式及び展示は中止 ②対象者：小学生・中学生・高校生(特別支援学校も含む) ③内容方法：県内にある国・県・市町村指定文化財やその他の文化財をテーマとした図画作品を募集し、審査を経て5部門75名の入賞者に賞状と表彰楯を授与する。 ④参加人数：261名(応募者数) ⑤実施団体：沖縄県教育庁文化財課 ⑥成果：児童生徒が文化財をテーマとした図画の制作を通して地域の文化財に興味・関心を持ち、文化財保護・愛護思想の高揚を図ることができた。	【「私たちの文化財」図画作品募集】 ①期間：令和3年5月～9月(応募期間) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式及び展示は中止 ②対象者：小学生・中学生・高校生(特別支援学校も含む) ③内容方法：県内にある国・県・市町村指定文化財やその他の文化財をテーマとした図画作品を募集し、審査を経て5部門75名の入賞者に賞状と表彰楯を授与する。 ④参加人数：597名(応募者数) ⑤実施団体：沖縄県教育庁文化財課	教育庁 文化財課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 2 節	29	組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業	県内の学校や市町村で組踊公演を行い、郷土芸能への理解と関心を深めさせる。 また、各都道府県で組踊特別鑑賞会を行い、組踊をはじめとする沖縄の伝統芸能の普及を図る。	【児童生徒の組踊鑑賞会】 ①期間：令和2年11月 場所：組踊 浦添市、沖縄芝居 沖縄市 ②対象者：中学生・高校生 ③内容方法：組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会 ④参加者等：431名 ⑤実施団体：県教育委員会 【組踊特別鑑賞会（全国公演）】 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全公演中止	【児童生徒の組踊鑑賞会】 ①期間：令和3年11月～12月 場所：組踊 沖縄市 沖縄芝居 豊見城市、八重瀬町 ②対象者：小学生・高校生 ③内容方法：組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会（1校） 沖縄芝居ワークショップ（2校） ④参加者等：400名 ⑤実施団体：県教育委員会 【組踊特別鑑賞会（全国公演）】 ①期間：令和3年10月～令和4年2月 場所：秋田県、静岡県、山形県（2公演） ②対象者：一般 ③内容方法：琉球舞踊および組踊鑑賞会 ④参加者等：約3,000人 ⑤実施団体：一般社団法人伝統組踊保存会	教育庁 文化財課
	30	組踊等教育普及事業	日常生活において、組踊等沖縄の無形文化財（芸能）を鑑賞する機会の少ない児童・生徒に対し、これを公演し、観賞させる。 また、組踊等沖縄の無形文化財（芸能）を児童生徒に鑑賞させることによって、郷土の無形文化財（芸能）への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。	【児童生徒離島公演】 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全公演中止 【組踊ワークショップ】 ①期間：令和2年10月～令和3年3月 場所：宜野座村、読谷村、沖縄市、宜野湾市 浦添市、那覇市、糸満市、南城市 宮古島市、石垣市 ②対象者：小学生・中学生・高校生 ③内容方法：組踊ワークショップ ④参加者等：1,478名 ⑤実施団体：県教育委員会 ⑥成果：組踊等沖縄伝統芸能を体験する機会が少 ない児童生徒に沖縄の無形文化財の普及 と啓発を図ることができた。	【児童生徒離島公演】 ①期間：令和3年11月～令和4年2月 場所：伊平屋村、石垣市（4公演） 竹富町（2公演） ②対象者：小学生・中学生・高校生 ③内容・方法：組踊鑑賞会および事前ワークショップ ④参加者等：1,300人 ⑤実施団体：令和3年度「組踊等教育普及事業」 共同事業体 【組踊ワークショップ】 ①期間：令和3年9月～令和4年1月 場所：今帰仁村、伊江村、宜野座村、うるま市 沖縄市、宜野湾市、西原町、浦添市 那覇市、豊見城市、南風原町、宮古島市 石垣市、竹富町 ②対象者：小学生・中学生 ③内容方法：組踊ワークショップ ④参加者等：1,800名 ⑤実施団体：県教育委員会	教育庁 文化財課
	31	芸術鑑賞機会提供事業	芸術鑑賞機会の少ないへき地、離島等の児童生徒に、優れた舞台芸術を提供して生の芸術に触れる喜びを与えるとともに表現活動の機会を確保することにより、児童生徒の芸術活動の機運の醸成と健全育成を図る。	①期間・場所：令和2年10月14日～15日、石垣市立白保小学校、石垣市立名蔵小中学校 ②対象者：石垣市の児童生徒等 ③内容方法：舞台芸術鑑賞及びワークショップ ④参加者等：児童生徒149人、職員等29人 ⑤実施団体：県教育委員会 ⑥成果：ワークショップや公演の鑑賞を通して感動や喜びを体験できた。	①期間・場所：令和3年12月14日 粟国村立粟国小中学校 ②対象者：粟国村の児童生徒等 ③内容方法：舞台芸術鑑賞及びワークショップ ④参加者等：児童生徒、職員等 ⑤実施団体：県教育委員会	教育庁 文化財課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 2 節	32	次代を担う子どもの文化芸術体験事業	小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、又は小学校・中学校等に芸術家を派遣することにより、次代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげる。	①期間・場所：令和2年6月～令和3年2月、県内小中学校施設内 ②対象者：小、中、高校、特別支援学校の児童生徒等 ③内容方法：舞台芸術鑑賞及びワークショップ ④参加者数：児童生徒14,870名、職員等301名 ⑤実施団体：各種芸術団体等 ⑥成果：全体で113回の公演が実現でき多くの児童生徒の感性を育むことができた。	①期間・場所：令和3年6月～令和4年2月、県内小中学校施設内 ②対象者：小、中、高校、特別支援学校の児童生徒等 ③内容・方法：舞台芸術鑑賞及びワークショップ ④参加者等：児童生徒、職員等 ⑤実施団体：各種芸術団体等	教育庁 文化財課
	33	芸術文化祭	県民の多様な芸術活動を奨励するとともに、広く芸術鑑賞の機会を提供するため昭和47年から開催。 展示部門として美術・写真・書道の公募展、舞台部門、各種ワークショップを実施。	1. 展示部門 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため、本展は中止し代替事業として小規模の特別展示会を開催。 ①令和3年3月9日～14日 那覇市民ギャラリー【那覇市久茂地】 ②一般県民 ③審査員・無鑑査作品（44点）のみに規模を縮小し、特別展を実施 ④入場者数 883人 ⑤主催：沖縄県文化振興会、沖縄県 ⑥特別展に加え県芸祭アートセミナー動画及びリーフレットを作成し、作品鑑賞の解説を行うことで好評を得た。 2. 舞台部門 ①期間・場所 R2. 11. 23(月) 多良間村文化コミュニティ施設「ピトゥマタウガム」 ②対象者 一般県民 ③内容方法 琉球舞踊、組踊 ④参加者数等 101名 ⑤実施団体 沖縄県、(公財)沖縄県文化振興会、多良間村 ⑥成果 101人の観客を動員。(新型コロナウイルス拡大の影響を受け、本来の定員の半分以下に入場制限を行った)	1. 展示部門 ① 本 展 沖縄県立博物館・美術館 R3. 10. 16(土)～10. 24(日) 初日10/16に表彰式 移動展 東村立 山と水の生活博物館 R3. 10. 16(土)～10. 24(日) ②一般県民 ③入選作品の展示会および入賞作品の表彰。 ④入選数は写真部門105作品、書道部門99作品、美術部門56作品。入賞数は各部門とも以下の通り。 沖縄県知事賞（最優秀賞）：1点 沖縄県文化振興会理事長賞（優秀賞）：1点 奨励賞：3点 新人賞：1点 ⑤主催：沖縄県文化振興会、沖縄県 ⑥入場者数 本展：5,181人 移動展：259人 2. 舞台部門 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	文化観光スポーツ部 文化振興課
	34	博物館文化講座	沖縄の自然・歴史・文化に関する最新の研究または博物館資料等を紹介する。	①令和2年4月～令和3年3月 沖縄県立博物館・美術館講堂 ②一般 ③講演会・シンポジウム他 ④実施回数6回 530名 ⑤沖縄県・沖縄美ら島財団（指定管理者） ⑥郷土の自然、歴史、文化への認識を深める機会の提供	①令和3年4月～令和4年3月 沖縄県立博物館・美術館講堂/オンライン配信 ②一般 ③講演会・シンポジウム他 ④実施回数12回 3288名 ⑤沖縄県・沖縄美ら島財団（指定管理者）	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	35	美術館講座	学芸員の調査研究の成果や業務内容等及び展覧会と関連させた内容の講座を、一般の方を対象に開催することで美術への関心を高める	①令和2年10月、11月 沖縄県立博物館・美術館 ②一般 ③学芸員による調査研究の発表等 ④3回実施 61名 ⑤沖縄県 ⑥学芸員の調査研究した成果を発信し、展覧会や美術への興味関心、理解へとつなげる活動	①令和3年6月、10月、11月、令和4年1月 沖縄県立博物館・美術館 ②一般 ③学芸員による調査研究の発表等 ④4回実施 91名 ⑤沖縄県	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 2 節	36	常設展・コレクション展・企画展	沖縄の自然、歴史、文化、芸術に関する学芸員の日頃の調査研究をもとに展示公開を行い、県民の自然、郷土文化に対する認識を深める機会を提供する。	①令和2年4月～令和3年3月 沖縄県立博物館・美術館 ②一般 ③展示公開 ④企画展「稲嶺成祚展」2,994名 企画展「石川真生展」R3年度まで コレクション展 6回 ⑤沖縄県 ⑥県内外からの来館者に対する郷土の自然、歴史、文化への認識を深める機会の提供	①令和3年4月～令和4年3月 沖縄県立博物館・美術館 ②一般 ③展示公開 ④企画展「石川真生展」 3,710名（終了済み） 企画展「琉球の横顔展」3,282名（終了済み） コレクション展 5回 ⑤沖縄県	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	37	沖縄県立芸術大学公開講座	伝統文化の創造と発展に寄与するため、県民を対象とした公開講座を開催し、大学の研究成果を還元する。	実施なし。	実施なし。	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立芸術大学)
	38	公文書等利用普及事業	公文書館収蔵資料等の利用普及を図り、県民文化の向上に資する。	①開催場所はすべて沖縄県公文書館 ・所蔵資料展「沖縄観光のあゆみ」常設展「公文書館の仕事」 ・所蔵資料展「1945年 沖縄は戦場だった」常設展「公文書館の仕事」 ・所蔵資料展「どんな資料があるのかな 公文書館所蔵資料群あれこれ」常設展「公文書館の仕事」 ②一般県民 ③展示 ④4,061人 ⑤実施団体：沖縄県公文書館指定管理者(公財) 沖縄県文化振興会 ⑥公文書館の役割や所蔵資料について理解を深めるとともに、利活用の方法について周知を図ることができた。	①開催場所はすべて沖縄県公文書館。 ・所蔵資料展「どんな資料があるのかな 公文書館所蔵資料群あれこれ」 ・企画展「“民主主義のショーウィンドー” アメリカ統治の光と影」 ・企画展「軍用地政策の変遷」 ②一般県民 ③展示 ④3,000人 ⑤実施団体：沖縄県公文書館指定管理者(公財) 沖縄県文化振興会	総務部 総務私学課
39	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展」	国指定重要文化財「首里城京の内跡出土陶磁器」をテーマに沿って年次的に公開する。	①期間・場所：令和3年1月26日～3月21日、 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展示室 ②対象者：一般 ③内容方法：企画展名「令和2年度重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展—発掘された倉庫跡—」 ④参加者数：445人 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター ⑥成果：展示を通じて、「首里城京の内跡出土陶磁器」に対する理解を深めることができた。	新型コロナウイルス感染症対応に伴い中止。	教育庁 文化財課 (県立埋蔵文化財センター)	

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 2 節	40	企画展、現地説明会、体験学習、文化講座、出前授業、刊行等	考古学の研究成果や最新の動向を広く紹介する。(文化講座)	<p>【第83回文化講座「琉球文化の象徴、首里城正殿―首里城正殿跡の発掘調査」】 ①期間・場所：令和2年6月20日 県立埋蔵文化財センター研修室 ②対象者：一般 ③内容方法：講演(講師：上原静) ④参加者数：86名 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター ⑥成果：講演を通じて、首里城正殿跡の発掘調査の内容や、出土した遺物や遺構について理解を深めることが出来た。</p> <p>【第84回文化講座「発掘調査速報2020」】 (新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)</p> <p>【第85回文化講座「20周年記念講演」】 ①期間・場所：令和2年11月7日、県立埋蔵文化財センター研修室 ②対象者：一般 ③内容方法：講演(講師：金城亀信、大城慧、盛本勲) ④参加者数：44名 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター ⑥成果：講演を通じて、県立埋蔵文化財センターの20年の歩みについて知ることが出来た。</p> <p>【第86回文化講座「首里城京の内跡出土品展講演、世界遺産登録20周年特別記念講演」】①期間・場所：令和3年2月14日 県立埋蔵文化財センター研修室 ②対象者：一般 ③内容方法：講演(講師：玉城綾、西村貞雄) ④参加者数：44名 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター ⑥成果：講演を通じて、陶磁器の見方や大龍柱について理解を深めることが出来た。</p>	<p>【第87回文化講座「発掘調査速報2021」】 (新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)</p> <p>【第88回文化講座「沈没船からみたUSSエモンズと日本軍特攻機の戦闘」】①期間・場所：令和3年10月30日 県立埋蔵文化財センター研修室 ②対象者：一般 ③内容方法：講演(講師：片桐千亜紀) ④参加者数：40名 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター</p>	教育庁 文化財課 (県立埋蔵文化財センター)
		これまでの発掘調査によって得られた成果を、テーマ展示し、広く公開する。(企画展)	<p>【企画展「沖縄県の戦争遺跡―歩いていける戦争遺跡―」】 ①期間・場所：令和2年9月6日～10月4日 県立埋蔵文化財センターエントランスホール ②対象者：一般 ③内容方法：展示 ④参加者等：79人 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター ⑥成果：企画展を通じて沖縄県の戦争遺跡に対する理解が深まった。</p> <p>【企画展「発掘調査速報2020」】 ①期間・場所：令和2年9月6日～10月4日 県立埋蔵文化財センター企画展示室 ②対象者：一般 ③内容方法：展示 ④参加者等：79人 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター ⑥成果：企画展を通じて、2020年に実施した当センターの発掘調査活動に対する理解が深まった。</p> <p>【企画展「沖縄県立埋蔵文化財センター開所20周年展「埋文センター20年の歩み」】 ①期間・場所：令和2年10月27日～12月20日 県立埋蔵文化財センター企画展示室 ②対象者：一般 ③内容方法：展示 ④参加者数：468人 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター ⑥成果：企画展を通じて、当センターの20年の活動の様子を理解することが出来た。</p>	<p>【企画展(発掘調査速報2021)】 ①期間・場所：令和3年7月13日～21日、10月1日～6日 県立埋蔵文化財センター企画展示室) ②対象者：一般 ③内容方法：展示 ④参加者等：65人 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター</p> <p>【企画展「海から見た沖縄戦―USSエモンズと日本軍特攻機の戦闘」】 ①期間・場所：令和3年10月12日～11月15日、令和3年12月2日～令和4年1月9日 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展示室 ②対象者：一般 ③内容方法：展示 ④参加者等 502人 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター</p>	教育庁 文化財課 (県立埋蔵文化財センター)	

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 2 節	40	企画展、現地説明会、体験学習、文化講座、出前授業、刊行等	発掘調査によって得られた成果を遺跡現場で公開する。 (現地説明会)	実施なし。	【鏡水原遺跡発掘調査現地見学会】 ①期間・場所：令和4年1月9日 小禄道路 ②対象者：一般 ③内容方法：現地見学会 ④参加者等：21人 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター	教育庁 文化財課 (県立埋蔵文化財センター)
			「先史人の技」をテーマに、古代の人々が巧みな技術を持っていたことを体験する。 (体験学習)	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止。	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止。	教育庁 文化財課 (県立埋蔵文化財センター)
			これまでの発掘調査によって得られた成果を、広く公開する。(報告書の刊行)	【沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第107集 円覚寺跡(3)―三門地区の遺構確認調査報告書―】【沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第108集鏡水原遺跡―那覇空港自動車道(小禄道路)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―】 【沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第109集中城御殿跡―県営首里城公園中城御殿発掘調査報告書(8)】	【沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第110集中城御殿(首里高校内)・櫛園跡―首里高校校舎改築に伴う発掘調査(2)―】 【沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第111集 キャンプ瑞慶覧内東普天間住宅地区に係る文化財発掘調査報告書】(刊行見込み) 【沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第112集 基地内文化財9 普天間飛行場内試掘調査総括報告書】(刊行見込み)	教育庁 文化財課 (県立埋蔵文化財センター)
			これまでの発掘調査によって得られた成果を活用し、各地に出向いて授業を行う。(出前授業)	【国頭村立奥小学校、安波小学校、安田小学校】 ①期間・場所：令和2年6月8日 奥小学校 ②対象者：奥小学校・安波小学校・安田小学校の生徒・先生 ③内容方法：沖縄県の戦争遺跡について、④参加者数：36人 ⑤実施団体：県立埋蔵文化財センター ⑥成果：沖縄県の戦争遺跡について学ぶことが出来た。	【久米島町立久米島小学校】①期間・場所：令和3年12月21日 ②対象者：久米島小学校6年生と先生 ③内容方法：沖縄の先史時代について ④参加者数：13人 ⑤実施団体：県立埋葬文化財センター	教育庁 文化財課 (県立埋蔵文化財センター)
41	しまくとぅば普及推進事業	しまくとぅばの普及促進を県民運動として展開していくための各種取組を行う。	※新型コロナウイルス感染症拡大のため、県民大会は中止し代替事業としてしまくとぅばの普及・啓発をねらいとした特別テレビ番組を作成・県内民放3局で放映。 ①(30分の特別テレビ番組放映) RBC：令和3年2月20日(土) 12：58～ QAB：令和3年2月27日(土) 15：25～ OTV：令和3年3月14日(日) 16：00～ ②一般県民 ③しまくとぅば普及・啓発をねらいとした特別テレビ番組放映 ④(出演者)八木政男・こきざみインディアン・じゅん選手・あーりー・玉城知事(ビデオメッセージ) ⑤沖縄県 ⑥3回放送し、沖縄県内の平均視聴率は4%。延べ約15万人の視聴者にアプローチした。	※新型コロナウイルス感染症拡大のため、大会の第1部(しまくとぅば普及功労者表彰式)は中止し、表彰状都記念品を被表彰者へ送付した。以下の実績は大会の第2部(しまくとぅば語やびら大会)のものである。 ①令和3年12月4日(土)、沖縄コンベンションセンター会議棟で開催済。同時にYouTubeによるライブ配信と県内4カ所でのパブリックビューイングも開催。 ②一般県民 ③各市町村からの推薦者による、各地域の「しまくとぅば」お話し大会。本年度の「しまくとぅば普及功労者」の活動事例紹介も合わせて行った。 ④(出演者)県内の「しまくとぅば」話者18組および県内お笑い芸人5組(FEC) ⑤沖縄県、沖縄県文化協会	文化観光スポーツ部 文化振興課	

第3節 国際交流・協力の推進

章節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 3 節	42	おきなわ国際協力人材育成事業	将来の沖縄県の国際協力を担う人材の発掘及び育成を図るとともに、国際協力の必要性を学ぶことを通じて、国際感覚やグローバルな視点を持った人材を育成することを目的とする。	コロナ禍のため派遣事業は中止。	①令和3年8月2日～8月9日 県内（オンライン） ②県内高校生 ③国際協力・地域おこし活動現場等の視察・交流をオンラインで実施する。 ④38名 ⑤沖縄県（委託：青年海外協力協会、JTB沖縄）	文化観光スポーツ部 交流推進課
	43	海邦養秀ネットワーク構築事業	沖縄県の若い世代を海外に派遣し、国際感覚に富む人材を育成するとともに、現地の県系人、特に若い世代との交流を通して相互の絆の強化に努め、派遣先国の県系人社会の活性化を図ること等により、「ウチナーネットワーク」の継承及び発展に資することを目的とする。	コロナ禍のため事業中止	①令和3年11月6日～11月7日 県内 ②県内高校生、大学生、専門学校生、県出身大学生等 ③中国福建省とのオンライン交流及びワークショップ ④25名 ⑤海邦養秀ネットワーク構築事業実行委員会（沖縄県）	文化観光スポーツ部 交流推進課
	44	国際交流・協力ボランティア事業	国際交流・協力を支える民間ボランティア登録制度の拡充・活用を図り、国際交流・協力の促進に努める	①通年・県内またはオンライン開催 ②県民等 ③国際交流・協力を支える民間ボランティア登録制度の拡充・活用を図った。 ④医療通訳ボランティアの登録希望者等 ⑤（財）沖縄県国際交流・人材育成財団 ⑥在住外国人等との共生社会を推進するため、医療通訳ボランティア養成講座や医療通訳ボランティアステップアップ講座を実施した。	①通年・県内またはオンライン開催 ②県民等 ③国際交流・協力を支える民間ボランティア登録制度の拡充・活用を図る。 ④医療通訳ボランティアの登録希望者等 ⑤（財）沖縄県国際交流・人材育成財団	文化観光スポーツ部 交流推進課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 3 節	45	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業	<p>グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダーを育成する基礎作りを図るため、下記①～⑥の細事業を行う。</p> <p>①アメリカ高等教育体験研修 ②海外サイエンス体験短期研修 ③中国教育交流研修 ④沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム ⑤専門高校生国外研修 ⑥沖縄県高校生海外雄飛プログラム</p>	令和2年度は、新型コロナの影響により、全6事業を中止した。	<p>①R3.9月～R4.3月 ②県内高校生 ③オンライン研修 ④一次選考（書類）、二次選考（面接等）の合格者 ⑤教育庁県立学校教育課</p> <p>感染症等の影響により海外派遣できないため、全ての研修をオンライン研修等に代替して実施。</p> <p>1. アメリカ高等教育体験研修（R4.1～3月） 高校生40名 モリタ州立大学の授業受講、英会話レッスン、現地大学生とのオンライン交流等</p> <p>2. 海外サイエンス体験短期研修（R4.1～3月） 高校生17名 オンラインによるサイエンス・イノベーション研修、現地高校生等とのオンライン交流等</p> <p>3. 中国教育交流研修（R4.1～3月） 高校生20名 オンラインによる語学研修、歴史・文化研修、現地高校生との交流等</p> <p>4. 沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム（R4.1～3月） 高校生64名 書道（20名）華人書家による実技指導、語学、歴史・文化研修、台湾高校生とのオンライン交流等 美術工芸（14名）東京富士美術館、東京都美術館絵画展オンライン見学、歴史・文化研修等 音楽（14名）オンラインでのプロ演奏家によるレッスン、海外留学経験者との交流、歴史・文化研修等 郷土芸能（16名）組踊保存会との交流、フラ体験、現地高校生とのオンライン交流、歴史・文化研修等</p> <p>5. 専門高校生国外研修（R3.9月～R4.2月） グローバル・ビジネスマン講話、豪州・台湾学生等との交流、現地起業家講話等</p> <p>6. 沖縄県高校生海外雄飛プログラム（R4.1～2月） ハワイ沖縄連合会による講話およびディスカッション、ツーリズム研修、平和学習、現地高校生とのオンライン交流等</p> <p>7. グローバル人材映像制作・配信事業 県内で活躍するグローバル人材を紹介する映像を制作し、各高等学校へ配信</p>	教育庁 県立学校教育課
	46	国際性に富む人材育成留学事業	<p>①高校生80名をアメリカ、欧州、アジア、オセアニア、南米諸国等へ1年間派遣する。 ②派遣にかかる業務を委託し、高校生はプログラム費用を助成する。 ③次年度派遣生の募集・選考 ④アジア太平洋諸国とのネットワーク形成を図るため、県内の社会人等をハワイ東西センターへ派遣する。</p>	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、派遣生の安心・安全の観点より、事業（令和2年度派遣）を中止。 R2年度は前年度中に帰国できなかった一部生徒（令和元年度派遣生6名）の帰国に係る業務等を実施。	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、派遣生の安心・安全の観点より、事業（令和3年度派遣）を中止。	教育庁 県立学校教育課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 3 節	47	沖縄県高校生国際文化交流派遣事業	本県の高校生と諸外国の高校生の文化交流を通して相互理解を深め、本県及び外国の文化の振興に寄与するとともに、本県高校生の文化活動の充実・発展に資する。	新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止	新型コロナウイルス感染症の影響により海外派遣は行わず代替研修 ①期間・場所：令和4年1月 県内、県外 ②対象者：本県高校生 ③内容方法：オンライン研修・交流、芸術家による実技指導等 ④参加者等：73名(生徒64名、引率等9名) ⑤実施団体：県、沖縄県高等学校文化連盟、委託業者	教育庁 文化財課
	48	青年国際交流事業への派遣	内閣府が主催する「青年国際交流事業」の各プログラムに県内参加青年の募集及び中間選考等を実施し、内閣府へ推薦する。	①令和3年1月25～3月5日⇒中止 世界青年の船（インド、スリランカを訪問）、ほか5事業 ②18歳～30歳（コアリーダーのみ23歳～40歳） ③諸外国の青年との交流を通して、相互の理解と交流を促進し、広い国際的視野と国際協力の精神を有する次世代を担う青年の育成を目指す。 ④世界青年の船事業に3名内閣府へ推薦する。 ⑤内閣府 ⑥新型コロナウイルス感染症の影響で、全事業中止となった。沖縄県から3名推薦していたが、選考試験も中止された。	①令和4年1月15日、16日、29日⇒中止 国際社会青年有成事業（中南米、欧州）、ほか4事業 ②18歳～30歳 ③諸外国の青年との交流を通して、相互の理解と交流を促進し、広い国際的視野と国際協力の精神を有する次世代を担う青年の育成を目指す。 ④新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度は外国への派遣は行わず、オンライン交流として募集。例年は県で募集・推薦を行っていたが、令和3年度については内閣府が直接募集を行った。 ⑤内閣府	子ども生活福祉部青 少年・子ども家庭課
	49	沖縄県雄飛プロジェクト	毎年6月にハワイ州高校生を受け入れ、お互いの歴史・文化・平和について学ぶと共に、学校生活を通して異文化理解を深め、国際社会に貢献できる人材の育成を目標とした事業である。※派遣についてはH27より「グローバル・リーダー育成海外短期研修事業」の細事業の一つとし、公費による派遣を行っている。	令和3年度は、新型コロナの影響により、事業を中止した。	①R3.3月～R4.6月 ②県内高校生及びハワイ州高校生 ③オンライン研修 ④県内高校生は選考（書類）の合格者 ハワイ州高校生は学校長推薦者 ⑤教育庁県立学校教育課 感染症等の影響により海外派遣できないため、全ての研修をオンライン研修等に代替して実施。 ハワイ沖縄連合会と教育委員会から歴史文化、平和学習映像を提供しオンデマンドで視聴。ハワイと沖縄の高校生がペアになり、オンラインで交流した内容をビデオにまとめて発表。	教育庁 県立学校教育課

第4節 福祉と安全のまちづくり

章節	事業No	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2部2章4節	50	かりゆし美術展	高齢者の創作による美術作品展を開催し、芸術文化活動への参加機会を促すことにより、高齢者が創作活動等の生きがいを持つことで、明るく活力ある長寿社会づくりに寄与する。	①令和3年1月12日(火)～3月30日(火) ※新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン展示会 ②60歳以上の県内高齢者 ③全国健康福祉祭岐阜大会の次年度延期に伴い、全国出品作品の選考を兼ねない特別展を開催。 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門 ④出展数 155点 ⑤沖縄県(沖縄県社会福祉協議会に委託実施) ⑥高齢者の芸術文化活動への参加機会を促進することにより、高齢者の創作活動等の生きがいづくりに寄与した。	①令和4年1月27日(木)～1月30日(日) ②60歳以上の県内高齢者 ③全国健康福祉祭の出品作品選考会も兼ねて開催。 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門 ④出展予定数 197点 ⑤沖縄県(沖縄県社会福祉協議会に委託実施)	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課
	51	かりゆし長寿大学校運営事業	高齢者に体系的な学習及び社会活動への参加の機会を提供して、地域活動の担い手としての資質を向上させるとともに、高齢者の生きがいと健康の保持に資する。	①令和2学年度(第30期生) 令和2年4月～令和3年2月 沖縄県総合福祉センター ②60歳以上の県内高齢者 ③修業年限:1年(週一回4時間) 学習内容:一般教養課程/専門課程(地域文化学科、健康福祉学科、生活環境学科)/クラブ活動 ④卒業生0名 ⑤沖縄県(沖縄県社会福祉協議会に委託実施) ⑥新型コロナウイルス感染症対策のため休校	①令和3学年度(第30期生) 令和3年4月～令和4年2月 沖縄県総合福祉センター ②60歳以上の県内高齢者 ③修業年限:1年(週一回2時間) 学習内容:一般教養課程/専門課程(地域文化学科、健康福祉学科、生活環境学科)/クラブ活動 ④定員0名 ※新型コロナウイルス感染症対策のため休校としたが、オンライン特別講義を入学予定者等へ実施した。 ⑤沖縄県(沖縄県社会福祉協議会に委託実施)	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課
	52	おきなわねりんピック	高齢者の健康保持・増進並びに全国健康福祉祭への派遣対象者を選出する場として、「スポーツ交流大会」と文化交流大会を開催する。	①令和2年6月26日、9月12日・19日～20日・26日～27日、11月1日・15日・22日 ②60歳以上の県内高齢者 ③全国健康福祉祭の県内予選的な位置づけで開催。 スポーツ:球技関係、剣道、ダンス等 18種目 文化交流:囲碁、将棋 交流行事:レクリエーション交流大会 ④参加者 0名 ⑤沖縄県(沖縄県社会福祉協議会に委託実施) ⑥新型コロナウイルス感染症対策のため次年度へ延期	①令和3年8月15日、9月18日～19日・23日・25日～26日、10月2日・14日、11月7日・28日 ②60歳以上の県内高齢者 ③全国健康福祉祭の県内予選的な位置づけで開催。 スポーツ:球技関係、剣道、ダンス等 18種目 文化交流:囲碁、将棋 交流行事:レクリエーション交流大会 ④参加者予定者 約1,000名 ⑤沖縄県(沖縄県社会福祉協議会に委託実施)	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課
	53	ねりんピック選手派遣事業	全国健康福祉祭(ねりんピック)への選手団の派遣及び美術作品を出展し、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進・社会参加及び生きがいの高揚を図るとともに、ふれあいと活力ある長寿社会を形成する。	①令和2年10年31日～11月3日 開催地:岐阜県 ②60歳以上の県内高齢者 ③全国健康福祉祭に選手役員を派遣。また、美術展に作品を出展。 ④派遣人員 選手役員118名、美術展に作品を12点出展 ⑤沖縄県(沖縄県社会福祉協議会に委託実施) ⑥新型コロナウイルス感染症対策のため岐阜大会は次年度延期	①令和3年10月30日～11月2日 開催地:岐阜県 ②60歳以上の県内高齢者 ③全国健康福祉祭に選手役員を派遣。また、美術展に作品を出展。 ④派遣人員 選手役員0名、美術展に作品を0点出展 ※新型コロナウイルス感染症対策のため岐阜大会は中止 ⑤沖縄県(沖縄県社会福祉協議会に委託実施)	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課

章 節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 4 節	54	チャーがんじゅう地域推進事業	住民が一体となって介護予防等に取り組み、元気に活動している地域等を表彰することとともに、元気な百歳長寿者に県を代表して知事等が訪問し、健康長寿にあやかることで、県民に広く介護予防等の取り組みの重要性をアピールし、健康長寿に関する意識啓発を図る。	1 チャーがんじゅう地域大賞表彰式 ①令和3年1月20日（水）八汐荘 屋良ホール ②沖縄県内の地域及び団体 ③チャーがんじゅう大賞、同優秀賞の授与式の開催。 ④受賞団体 4団体 ⑤沖縄県 ⑥新型コロナウイルス感染症対策のため中止とし、表彰状等は受賞団体へ送付した。 2 お元気百歳あやかり訪問 ①令和2年9月20日（日）～21日 ②百歳を迎える県内高齢者 ③知事等が百歳を迎え模範となってきた高齢者3名を訪問する。 ④百歳長寿者とそのご家族、県・市町村関係者等 ⑤沖縄県 ⑥新型コロナウイルス感染症対策のため、知事訪問を中止とし、代わりに知事からの動画メッセージを交付した。	1 チャーがんじゅう地域大賞表彰式 令和2年度をもって廃止 2 お元気百歳あやかり訪問 ①令和3年9月15日～21日 ②百歳を迎える県内高齢者 ③知事等が百歳を迎え模範となってきた高齢者3名を訪問する。 ④百歳長寿者とそのご家族、県・市町村関係者等 ⑤沖縄県 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、知事訪問を中止とし、代わりに知事からの動画メッセージを対象者へ送付した。	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課
	55	介護講座・介護実践研修	公立学校共済組合員及びその家族が要介護者になったときの対応や心構えについて、実技を取り入れた講座を開催する。	①令和2年8月14日（沖縄県教職員共済会館） ②公立学校共済組合沖縄支部組合員 ③介護に関する知識、実践方法の習得を図る。 ④募集定員60名 ⑤公立学校共済組合沖縄支部、沖縄県教職員互助会、沖縄県教職員共済会 ⑥中止（コロナ禍のため）	①令和3年8月6日（沖縄県教職員共済会館） ②公立学校共済組合沖縄支部組合員 ③介護に関する知識、実践方法の習得を図る。 ④募集定員60名 ⑤公立学校共済組合沖縄支部、沖縄県教職員互助会、沖縄県教職員共済会 ※中止（コロナ禍のため）	教育庁 総務課 （公立学校共済組合 沖縄支部、沖縄教職員互助会、沖縄県教職員共済会の共同開催）
	56	点訳・朗読・要約筆者養成事業	点訳、朗読、要約筆記に必要な技術等の指導を行い、これらに従事する点訳奉仕員、音訳奉仕員及び要約筆者を養成する。	①令和2年4月1日～令和3年3月31日 沖縄県視覚障害者福祉協会 沖縄県聴覚障害者協会 ②障害福祉に理解のある方 ③講習会形式 ④点訳4人×30回、朗読5人×20回 要約筆者 0人（コロナのため中止） ⑤（福）沖縄県視覚障害者福祉協会（点訳・朗読奉仕員） （一社）沖縄県聴覚障害者協会（要約筆者） ⑥研修の周知、奉仕員の養成を促進してコミュニケーション支援従事者の充実が図られた。	①令和3年4月1日～令和4年3月31日 沖縄県視覚障害者福祉協会 沖縄県聴覚障害者協会 ②障害福祉に理解のある方 ③講習会形式 ④点訳20人×30回、朗読10人×20回 要約筆者 20人 ⑤（福）沖縄県視覚障害者福祉協会（点訳・朗読奉仕員） （一社）沖縄県聴覚障害者協会（要約筆者）	子ども生活福祉部 障害福祉課
57	手話通訳者養成事業	聴覚障害者のコミュニケーションを確保するため、手話通訳者を養成する。	①令和2年4月1日～令和3年3月31日 沖縄本島、宮古島市、石垣市 ②障害福祉に理解のある方 ③講習会形式 ④延べ161人（本島147人、宮古島6人、石垣8人） ⑤（一社）沖縄県聴覚障害者協会 ⑥手話通訳者として必要な知識、技術を習得し、通訳活動に関わる人材育成を行った。	①令和3年4月1日～令和4年3月31日 沖縄本島、宮古島市、石垣市 ②障害福祉に理解のある方 ③講習会形式 ④延べ140人（本島100人、宮古島20人、石垣20人） ⑤（一社）沖縄県聴覚障害者協会	子ども生活福祉部 障害福祉課	

章 節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 4 節	58	点字教室	視覚障害者を対象に、点字の書き方・読み方の訓練を行う点字教室を開催する。	①令和2年4月1日～令和3年3月31日 市町村福祉センター・公民館等 ②視覚障害者、障害者福祉に理解のある方 ③講習会形式 那覇市を含む9カ所で実施 ④9地区 66回 ⑤（福）沖縄県視覚障害者福祉協会 ⑥障害者のコミュニケーション手段の充実が図られた。	①令和3年4月1日～令和4年3月31日 市町村福祉センター・公民館等 ②視覚障害者、障害者福祉に理解のある方 ③講習会形式 那覇市他8カ所で実施 ④9地区 56回 ⑤（福）沖縄県視覚障害者福祉協会	子ども生活福祉部 障害福祉課
	59	視覚障害者パソコン教室	視覚障害者を対象に、パソコン操作を習得するパソコン教室を開催する。	①令和2年9月29日～令和3年3月2日 沖縄県視覚障害者福祉協会研修室 ②視覚障害者 ③講習会形式（20回） ④初心者対象 3人 ⑤（福）沖縄県視覚障害者福祉協会 ⑥視覚障害者に対する社会参加が促進された。	①令和3年6月1日～令和4年3月31日 沖縄県視覚障害者福祉協会研修室 ②視覚障害者 ③講習会形式（20回） ④初心者対象 5人 ⑤（福）沖縄県視覚障害者福祉協会	子ども生活福祉部 障害福祉課
	60	地域住民・職域防犯団体との防犯会議の推進	地域住民や職域防犯団体に対して、犯罪に関する情報の提供、周知を図り、犯罪等の未然防止に資する。	新型コロナウイルス感染症流行のため、実施なし	新型コロナウイルス感染症流行のため、実施なし	警察本部 生活安全企画課
	61	実践型交通安全教育	幼児から高齢者に至るまで、心身の発達段階やライフスタイルに応じた段階的かつ体系的な交通安全教育を推進する。	①通年・県内全域 ②県内在住の幼児から高齢者 ③県内全域で約1,600回実施 ④受講者数約120,000名 ⑤警察本部、各警察署、各地区交通安全協会、交通ボランティア ⑥幼児・新入学児童等に対しては、腹話術や模擬信号機を活用するなど、楽しみながら理解できるような安全教室を実施したが、コロナ禍の影響により、昨年度より実施数は減少した。 高齢者に対しては、コロナ禍の影響により、教育の回数自体が激減し、体験・実践型の交通安全教育は実施できなかった。	①通年・県内全域 ②県内在住の幼児から高齢者 ③県内全域で約1,500実施 ④受講者数約90,000名 ⑤警察本部、各警察署、各地区交通安全協会、交通ボランティア	警察本部 交通安全企画課
	62	消費者啓発事業	消費生活に関する知識や情報を体系的・系統的に学習するための機会を提供し、消費者被害の未然防止及び県民一人一人が「考えて行動できる『沖縄消費者』となることを目指した消費者の育成を図る。	①令和2年4月～令和3年3月 ②一般消費者、小中高生、老人会等③弁護士や消費生活相談員等による講話を開催し、消費者トラブルやエンカル消費や食の安全安心に役立つ情報を県民に提供することができた。 ④開催回数：57回 参加者数：2,919人 ⑤消費者教育コーディネーター事業委託先：株式会社琉球新報開発	①令和3年4月～令和4年3月 ②一般消費者、小中高生、老人会等を③弁護士や消費生活相談員等による講話を開催し、消費者トラブルやエンカル消費や食の安全安心に役立つ情報を県民に提供。 ④開催回数：26回 参加者数：1189人 ※開催回数と参加者数は令和3年度3月末までの予想数字です。 ⑤消費者教育コーディネーター事業委託先：（共同企業体）特定非営利活動法人消費者センター沖縄 NPO法人消費者市民ネットおきなわ	子ども生活福祉部 消費・くらし安全課

第5節 郷土の自然及び環境学習の推進

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 5 節	63	水の週間関連事業	(1) 全日本中学生水の作文コンクール ※中学生を対象として作文コンクールを実施することにより、広く水に対する関心を高め、その理解を深めることを目的としている。	①募集期間、場所 令和2年5月18日～9月30日、県内 ②県内中学1, 2年生 ③県内中学校へ募集周知 ④32編(11中学校) ⑤国土交通省水循環政策本部、沖縄県 ⑥沖縄審査会：優秀賞5編、入選4編 優秀賞を中央審査会へ推薦 中央審査会：優秀賞(国土交通大臣賞)1編	①募集期間、場所 令和3年11月26日～令和4年5月10日、県内 ②令和3年度の県内中学1, 2年生 ③県内中学校へ募集周知 ④一 ⑤国土交通省水循環政策本部、沖縄県 ※より多くの生徒の参加を募るため募集期間を変更している。	企画部 地域・離島課
			(2) 広報活動 ※毎年8月1日の「水の日」に合わせ、水資源の有限性や重要性について県ホームページ等でPRするとともに、関連パンフレットの配布やパネル、資料の展示を行う。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県民ホールでのパネル展示を中止したが、ホームページ上で資料の展示をおこなった。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県民ホールでのパネル展示を中止したが、ホームページ上で資料の展示をおこなった。	企画部 地域・離島課
	64	緑化教室	緑化の普及啓発を目的に緑化技術の講習会を行う。	【第1回】 ①R2.6.25(津波古公民館) ②津波古自治会 ③種子からの苗づくり、管理の方法 ④21名 ⑤(公社)沖縄県緑化推進委員会 ⑥参加者は植え付け方法の手順や注意点を学び、緑化技術に関する知識を深めた。 【第2回】 ①R2.9.9(銘苺小学校) ②銘苺小学校5, 6年生 ③校内樹木の名前とその特徴 ④34名 ⑤(公社)沖縄県緑化推進委員会 ⑥参加者の児童は、校内の樹木の特徴や名前由来等を学ぶことでみどりをより身近に感じ、緑化活動への意識向上が図られた。	【第1回】 ①R4.2月予定(南城市垣花公民館) ②垣花自治会 ③検討中 ④未定 ⑤(公社)沖縄県緑化推進委員会 【第2回】 ①R4.2月予定(とよみ小学校) ②とよみ小学校児童 ③検討中 ④未定 ⑤(公社)沖縄県緑化推進委員会	環境部 環境再生課
65	世界自然遺産普及啓発事業	世界自然遺産推薦地の自然価値や保護の重要性について、地元住民を始めとする一般市民に対する普及啓発を実施するとともに、推薦地の住民に対しては新たなツールの開発やイベントの開催を通して保全意識を高めることを目的とする。	①令和2年12月12, 13日(西表島)、令和3年3月13, 14日(やんばる) ②世界自然遺産推薦地の小中学生及び保護者 ③フィールド観察会、遊覧飛行 ④2地域82人(定員80人) ⑤沖縄県 ⑥世界自然遺産推薦地の豊かな自然環境の保全意識の向上や登録に向けた機運の醸成が図られた。	①令和4年3月予定(現在は新型コロナウイルス影響で開催を延期しており、場合によっては中止する) ②世界自然遺産登録地(やんばる、西表島)の小中学生及び保護者 ③フィールド観察会 ④定員80人 ⑤沖縄県	環境部 自然保護課	

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 5 節	66	<p>次代の担う青少年育成推進事業 (平成25年度～平成29年度)</p> <p>持続可能な開発のための教育推進事業 (平成30年度～)</p> <p>SDGs達成のための教育推進事業 (令和3年度～)</p>	<p>学校現場において、持続可能な社会の担い手を育てる観点の教育が行われるよう、ESDについての教育を行う。</p>	<p>【持続可能な開発のための教育推進事業】</p> <p>1 ESD研修会開催 ①期間・場所：年度初め、夏季休業中等 ②対象：教育関係者、一般県民等 ③内容方法：オンライン、オンデマンド ④参加者等：初任者、学校教職員、学校管理者等 ⑤県教育委員会 ⑥成果：教師の資質・能力の向上、ESD・SDGsの理念の浸透、普及啓発につながった。</p> <p>2 研究指定校設置 ①一年間 ②小中高各1校 ③各学校の特色に合わせたESDの研究 ④学校・家庭・地域の人びと ⑤各市町村教育委員会や指定校 ⑥ESDの普及啓発</p> <p>3 研究指定校設置（小・中・高・特支） ESDによる教育効果や学習者の変容を図る評価手法を実践しその普及を図るため、研究指定校を設ける。 ①指定校 伊江村立伊江小、北谷町立浜川小、宮古島市立北小、石垣市立白保小、北谷町立北谷中、浦添市立浦添中、南風原町立南風原中、県立具志川高校、県立沖縄ろう学校 ②予算 1校あたり15万円</p> <p>4 普及・啓発に係る取組 SDGsの視点を組み込んだ教材や実践事例集等を作成し、普及に向けた研修会、出前講座、イベント等を実施する。 ①平成28年8月5、12、19（金） 県立総合教育センター ②公立小中学校初任者、県立高校初任者、 県立高校10年経験者 ③講演会及びワークショップ ④②に同じ ⑤沖縄県教育委員会 ⑥ESDの基本的な考え方、実践方法等を周知することができた。</p>	<p>【SDGs達成のための教育推進事業】</p> <p>1 ESD研修会開催 ①期間・場所：年度初め、夏季休業中等 ②対象：教育関係者、一般県民等 ③内容方法：対面、オンライン、オンデマンド ④参加者等：初任者、学校教職員、学校管理者等 ⑤県教育委員会 ⑥成果：教師の資質・能力の向上、ESD・SDGsの理念の浸透、普及啓発につながった。</p> <p>2 研究指定校設置 ①一年間 ②小5校、中2校、高・特支各1校、計9校 ③各学校の特色に合わせたESDの研究 ④学校・家庭・地域の人びと ⑤各市町村教育委員会や指定校</p> <p>3 普及・啓発に係る取組 SDGsの視点を組み込んだ教材や実践事例集等を作成し、普及に向けた研修会、出前講座、イベント等を委託事業にて実施する。</p>	教育庁 生涯学習振興課
	67	緑の少年団体験交流学習会	緑の少年団は、自然の学習と併せて緑化などの奉仕活動を楽しみ実施し、健全な心身の育成に努める団体である。これら団体が一同に会して学習交流会を実施し、活動の高揚を図る。	※R2, R3は、コロナ感染症拡大を受け、児童生徒が関わる当該活動は、中止となり、実績はありません。下記は、予定していた内容です。 ①R3. 1. 30（南風原町立中央公民館黄金ホール） ②緑の少年団 ③団ごとに、緑化活動を発表し活動に優れた団を表彰。最優秀賞の少年団は、全国大会へ県代表として推薦する。 ④30名 ⑤（公社）沖縄県緑化推進委員会	【コロナ感染症拡大を受け中止】 ①R4. 2. 11（南風原町立中央公民館黄金ホール） ②緑の少年団 ③団ごとに、緑化活動を発表し活動に優れた団を表彰。最優秀賞の少年団は、全国大会へ県代表として推薦する。 ④30名 ⑤（公社）沖縄県緑化推進委員会	環境部 環境再生課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 5 節	68	沖縄離島体験交流推進事業	離島の重要性、特殊性及び魅力に対する関心を深めるとともに、離島住民との交流促進により離島地域の活性化を図るため、児童を離島へ派遣し、民泊や体験学習等を行う。 本島の児童を派遣する「本島版」と、離島の児童を別の離島へ派遣する「離島版」の2つのスキームで実施している。	(1) 本島版 ①令和2年10月から令和3年1月に3離島へ派遣 ②本島の小学5年生 ③離島に派遣し、地域の人々との交流のもと、民泊や体験学習などを行う。 ④21校1,070名 ⑤沖縄県 ⑥関係者と連携し、児童の離島への学び、離島の受入体制強化が図られた。 (2) 離島版 ①～⑥実績なし	(1) 本島版 ①令和4年1月に7離島へ派遣（予定） ②本島の小学5年生 ③離島に派遣し、地域の人々との交流のもと、民泊や体験学習などを行う。 ④6校451名 ⑤沖縄県 (2) 離島版 ①令和4年1月に2離島へ派遣（予定） ②離島の小学5年生 ③離島の児童を離島（宮古島、石垣島）に派遣し、地域の人々との交流のもと、民泊や体験学習などを行う。また、派遣後に、児童が考えた島の将来像について、首長へ提言する。 ④4校55名 ⑤沖縄県	企画部 地域・離島課
	69	地域環境セミナー	出前講座や自然観察会、体験イベント等を開催して、沖縄の環境のすばらしさや課題等を認識してもらい、身近な環境活動実践に繋げる。	沖縄県地域環境センター（公益財団法人沖縄こどもの国による運営・委託） 【センター内での業務】 ①通年 ②一般県民等 ③センターHPでの情報発信、環境全般に関する相談、教材貸し出し、こどもエコクラブ等に対する環境教育の推進等 ④センター年間利用者数 2,930名 ⑤沖縄県地域環境センター 【地域等における環境保全啓発活動業務】 ①通年 県内各地（離島含む） ②一般県民、県内学生（幼稚園児を含む）、事業者等 ③(1)出前講座(39回) (2)自然観察会(11回) (3)体験イベント等(15回) 合計65回 ④延べ参加者数 3,011名 ⑤沖縄県地域環境センター ⑥新型コロナウイルス感染拡大を受け、センターを休館するほか、出前講座や各種イベントが中止になることがあったが、一部の出前講座やイベントでは、オンライン開催するなど、環境学習の機会を提供することができた。	沖縄県地域環境センター（公益財団法人沖縄こどもの国による運営・委託） 【センター内での業務】 ①通年 ②一般県民等 ③センターHPでの情報発信、環境全般に関する相談、教材貸し出し、こどもエコクラブ等に対する環境教育の推進等 ④センター年間利用者数 約1,100名 ⑤沖縄県地域環境センター 【地域等における環境保全啓発活動業務】 ①通年 県内各地（離島含む） ②一般県民、県内学生（幼稚園児を含む）、事業者等 ③(1)出前講座 (2)自然観察会 (3)体験イベント等 約70回 ④延べ参加者数 約3,300名 ⑤沖縄県地域環境センター	環境部 環境再生課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 5 節	70	環境月間記念講演会	県民、事業者等の環境保全意識の高揚を図ることを目的として、環境保全に関する講演会を開催する。	令和2年度の記念講演会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン開催とした。 【開催概要】 ①期間：令和3年3月24日 ②場所：オンライン ③対象：一般県民、団体、事業者 ④講演テーマ（講師） 「観光とサステナビリティ～コロナ禍にある沖縄観光から学ぶ学生達とSDGsの役割～」(大島 順子) ⑤おきなわアジェンダ21県民会議	令和3年度の記念講演会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン開催とする予定である。 【開催予定】 ①期間：令和4年2月10日 ②場所：オンライン ③対象：一般県民、団体、事業者 ④講演テーマ（講師） 「ナッジで進める脱炭素社会」(加藤 優里) ⑤おきなわアジェンダ21県民会議	環境部 環境再生課
	71	県民環境フェア	県民一人ひとりが自らのライフスタイルを見直し、環境保全に向けて主体的に取り組む契機とするため、県民が参加できる体験型イベントを実施する。	令和2年度の県民環境フェアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。	令和2年度の県民環境フェアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。	環境部 環境再生課
	72	気候変動適応策推進事業	地球温暖化による気候変動の影響として想定される自然災害増加のリスクに備えた適応策として、防災知識の普及啓発及び地球温暖化や気候変動を学ぶイベント等を実施する。	令和2年度事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。	令和3年度においては「地球温暖化と気候変動を学ぶ普及啓発映像媒体（仮称）」を作成し、県内小学校に映像媒体（DVD）を配付するほか、広く県民に周知することとしている。	環境部 環境再生課
	73	生物多様性地域戦略事業	自然にふれあう活動等を通じて、生物多様性の意味・恩恵・現状等を周知するとともに、自然保護思想の普及啓発を図る。	①期間・場所：7～9月 沖縄本島内 ②対象者：小学生、一般 ③内容・方法： ・小学生対象 生きものいっせい調査（アンケート式） ・一般対象 生きものフォトコンテスト ④参加者等：沖縄本島在住小学生、一般 ⑤実施団体：県自然保護課 後援：沖縄県教育委員会 ⑥成果：希少種であるミヤコカナヘビの生息地の確認やアンケート種の分布域の把握。	①期間・場所：7～9月 沖縄本島内 ②対象者：小学生、一般 ③内容・方法： ・小学生対象 生きものいっせい調査（アンケート式） ・一般対象 生きものフォトコンテスト ④参加者等：沖縄本島在住小学生、一般 ⑤実施団体：県自然保護課 後援：沖縄県教育委員会	環境部 自然保護課

第6節 健康づくり・スポーツ活動の推進

章 節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 6 節	74	地域活動栄養士研修会	地域で活動する栄養士や市町村栄養士の資質向上と相互の連携強化を図り、健康づくりに寄与する目的で研修会を開催する。	①日程：令和3年3月20日(土) 令和3年3月24日(木) 場所：沖縄県栄養士会館 ②沖縄県栄養士会会員、地域活動栄養士、市町村栄養士 ③実施方法は対面とオンラインの併用、内容については対面ではオンラインでの栄養指導の必要性が高まることから技術講習を実施、技術講習後、オンラインにて近年の課題である高齢者におけるフレイル予防の研修会を実施した。 ④3月20日参加者：14人、3月24日参加者：24人 ⑤公益社団法人 沖縄県栄養士会 ⑥近年の栄養施策の課題となっているフレイルや、オンラインでの栄養指導などニーズに応じた研修会が実施できた。	①時期については3月中を予定、場所についてはオンライン研修会を予定しているため記載なし。 ②沖縄県栄養士会会員、地域活動栄養士 ③実施方法についてはオンライン研修会を予定。内容については日本食品標準成分表2020年版(八訂)および食物アレルギー診療ガイドラインについて予定している。 ④沖縄県栄養士会会員、地域活動栄養士 ⑤公益社団法人 沖縄県栄養士会	保健医療部 健康長寿課
	75	健康づくり栄養担当者研修会	健康づくりにおける食生活及び運動についての施策や事業の進め方など職員のスキルアップを図る目的で開催する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施	保健医療部 健康長寿課
	76	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 該当キャンペーン	国連薬物乱用根絶宣言の支援事業の一環として県民1人1人の薬物乱用問題に対する認識を高め、併せて国連決議による「6.26国連麻薬乱用撲滅デー」の周知を図り、内外における薬物乱用防止に資するために行う。	※新型コロナウイルスの影響により中止	※新型コロナウイルスの影響により中止	保健医療部 衛生薬務課
	77	薬物乱用防止指導員研修会	地域に根付いた薬物乱用防止の普及啓発を推進するため、薬物乱用防止指導員の養成を目的に研修会を実施する。	①令和2年11月5日・てだこホール ②薬物乱用防止指導員等 ③薬物乱用防止指導員の資質の向上を図ることを目的とした研修会 ④薬物乱用防止指導員等 ⑤薬物乱用防止協会、県 ⑥麻薬取締官から薬物事犯の現状について講演をいただき、薬物乱用防止指導員の資質の向上に貢献した。	①令和3年6月16日・オンライン ②薬物乱用防止指導員、学校関係者等 ③薬物乱用防止指導員の資質の向上を図ることを目的とした研修会 ④薬物乱用防止指導員、学校関係者等 ⑤県	保健医療部 衛生薬務課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 6 節	78	薬物乱用防止指導員による講習会（薬物乱用防止教室）	地域に根付いた薬物乱用防止の普及啓発を推進するため、薬物乱用防止指導員が各地区の小中学校や地域自治会等からの依頼を受けて、講習会（薬物乱用防止教室）を実施する。	①令和2年4月1日～令和3年3月31日 ②小中高生 ③薬物乱用防止指導員及び県職員によるビデオやスライドを活用した講習会（薬物乱用防止教室）の実施 ④小中高生 ⑤薬物乱用防止協会 ⑥ビデオ等の活用により、薬物乱用の恐ろしさを視覚的に訴えることができ、効果的な啓発となった。	①令和3年4月1日～令和4年3月31日 ②小中高生及び地域自治体 ③薬物乱用防止指導員によるビデオやスライドを活用した講習会（薬物乱用防止教室）の実施 ④小中高生及び地域自治体 ⑤薬物乱用防止協会	保健医療部 衛生薬務課
	79	いきいき健康づくりヘルスアップ事業	食生活を基本とした健康づくり	①期間：令和2年6月11日～令和3年2月28日 場所：公共施設等（8市町村内） ②沖縄県民、食生活改善推進員等 ③実施方法は対面（調理実習や講習会、健康展など）、内容は生活習慣病予防のための食生活改善を基本とした地域活動を実施。 ④沖縄県民、食生活改善推進員等 ⑤沖縄県食生活改善推進員連絡協議会 ⑥8市町村において実施回数13回、参加人数176人に対し、地域活動をし、普及啓発に貢献した。また推進員へのスキルアップにもつながった。	①期間：令和3年7月1日～令和4年2月28日 場所：公共施設等（8市町村内） ②沖縄県民、食生活改善推進員等 ③実施方法は対面（調理実習や講習会、健康展など）、内容は生活習慣病予防のための食生活改善を基本とした地域活動としている。 ④沖縄県民、食生活改善推進員等 ⑤沖縄県食生活改善推進員連絡協議会	保健医療部 健康長寿課
	80	市町村母子健康担当者及び母子保健推進員研修会	地域母子保健活動の核となる市町村母子保健推進員に対して、その活動に必要な知識の習得と資質の向上を図る。 *期間：毎年1月に開催 *対象：全市町村	①令和3年1月21日（木） ②市町村母子保健関係職員、母子保健推進員、保健師等 ③活動報告・講演 ④500人 ⑤沖縄県（共催：公益社団法人母子保健推進会議・沖縄県母子保健推進員連絡会議） ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	①令和4年1月20日（木） ②市町村母子保健関係職員、母子保健推進員、保健師等 ③活動報告・講演 ④500人 ⑤沖縄県（共催：公益社団法人母子保健推進会議・沖縄県母子保健推進員連絡会議） ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	保健医療部 地域保健課
	81	不妊講習会	不妊症及び不育症についての正しい知識の習得と相談の場を設ける。	①令和3年10月1日～令和4年3月31日 ②不妊症及び不育症に悩んでいる方やその家族 ④100人 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	①令和3年10月1日～令和4年3月31日 ②不妊症及び不育症に悩んでいる方やその家族 ④100人 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	保健医療部 地域保健課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 6 節	82	スポーツ推進委員研究大会	生涯スポーツの普及・振興を図るため各市町村のスポーツ推進委員及び生涯スポーツ担当者が一堂に集い、各地区におけるスポーツの諸問題について研究協議を行い相互の資質の向上を図る。 *内容：開会式、表彰、講演、分科会、実技研修	①当初日程：令和2年8月15日～16日：浦添市 変更日程：令和2年12月12日：浦添市 ※新型コロナ感染拡大のため、中止。 ②全市町村スポーツ推進委員、生涯スポーツ担当者 ③開会式（県内スポーツ推進員表彰、九州・全国表彰者の紹介、講演、シンポジウム、実技研修） ④県内スポーツ推進委員、市町村生涯スポーツ担当者 ⑤沖縄県スポーツ推進委員協議会 ⑥新型コロナ感染拡大のため、中止。	①当初日程：令和3年8月28日～29日：糸満市 変更日程：令和4年1月29日：糸満市 ※新型コロナ感染拡大のため、中止。大会冊子の配布を行い、自己研修方式として開催 ②全市町村スポーツ推進委員、生涯スポーツ担当者 ③開会式（県内スポーツ推進員表彰、九州・全国表彰者の紹介、講演、シンポジウム、実技研修） ④県内スポーツ推進委員、市町村生涯スポーツ担当者 ⑤沖縄県スポーツ推進委員協議会	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課
	83	スポーツ・レクリエーション祭	誰でも気軽に取り組めるスポーツ・レクリエーション祭を全県規模で開催することにより県民のスポーツへの関心と意欲を高め、県民が日常生活において自らのライフステージにあったスポーツの選択をできるようになることで、生涯スポーツ社会の実現につなげる。 内容：開始式、種目別大会	①令和2年10月～12月末日 開始式：沖縄県体育協会スポーツ会館 種目別大会：県総合運動公園、奥武山総合運動場、県内市町村 ②全県民 ③種目別大会 ④2,035人 ⑤沖縄県、（公財）沖縄県スポーツ協会、沖縄県レクリエーション協会 ⑥第23回大会：8市町村で14種目を実施。 ※感染症対策の徹底ができる種目に限り実施。	新型コロナ感染症の影響により中止。	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課
	84	広域スポーツセンター事業	県民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を目指し、地域住民が自主的・主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援する。	①令和2年4月1日～令和3年3月31日 県内全域 ②県内の総合型地域スポーツクラブ ③クラブアドバイザーによるクラブ運営に関する助言・指導。 市町村総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施 大学の授業やゼミを活用し総合型地域スポーツクラブの普及啓発 ④県内総合型地域スポーツクラブ関係者 ⑤沖縄県広域スポーツセンター ⑥ ・クラブアドバイザーによるクラブ訪問 59件 ・総合型地域スポーツクラブに係る普及・啓発活動 2大学、484名	①令和3年4月1日～令和4年3月31日 県内全域 ②県内の総合型地域スポーツクラブ ③クラブアドバイザーによるクラブ運営に関する助言・指導。 市町村総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施 大学の授業やゼミを活用し総合型地域スポーツクラブの普及啓発 ④県内総合型地域スポーツクラブ関係者 ⑤沖縄県広域スポーツセンター	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 6 節	85	県営公園整備事業	良好な風致景観を備えた地域環境を形成し、自然との触れあいスポーツレクリエーションの場を提供し、心身ともに豊かな人間形成に寄与する。	①R2.4.1～R3.3.31 ②名護中央公園、沖縄県総合運動公園、中城公園、浦添大公園、首里城公園、海軍壕公園、奥武山公園、平和祈念公園、パンナ公園 ③県民 ④園路等の整備、老朽化施設の改築等 ⑤沖縄県土木建築部 ⑥公園利用者へのサービスが向上した。	①R3.4.1～R4.3.31 名護中央公園、沖縄県総合運動公園、中城公園、浦添大公園、首里城公園、海軍壕公園、奥武山公園、平和祈念公園、パンナ公園 ②県民 ③園路等の整備、老朽化施設の改築等 ④一 ⑤沖縄県土木建築部	土木建築部 都市公園課
	86	県立学校体育施設開放事業	地域における体育・スポーツの普及・振興に役立てるため、学校教育に支障のない範囲において、県立学校体育施設を県民の利用に供する。	①令和2年6月～令和3年2月 県内の県立学校体育施設 時間：月～金（19:00～22:00） 土・日（9:00～22:00） ②全県民 ③県立学校体育施設の開放、管理指導員の推薦、利用団体の登録 ④沖縄県に登録したスポーツ・レクリエーション活動を目的とした団体 ⑤沖縄県文化観光スポーツ部 ⑥開放校：8校 利用団体：11団体、9種目。	①令和3年4月～令和4年2月 県内の県立学校体育施設 時間：月～金（19:00～22:00） 土・日（9:00～22:00） ②全県民 ③県立学校体育施設の開放、管理指導員の推薦、利用団体の登録 ④沖縄県に登録したスポーツ・レクリエーション活動を目的とした団体 ⑤沖縄県文化観光スポーツ部	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

第7節 男女共同参画の推進

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 7 節	87	男女共同参画センター事業	沖縄県男女共同参画センターを拠点として、男女共同参画社会の実現を目指し、講座、講演会等啓発学習事業、相談及び情報提供等の事業を実施する。	①期間：R2.4.1～R3.3.31、場所：沖縄県男女共同参画センター ②一般 ③啓発講座、パネル展、相談事業 ④【啓発講座】9講座12回、参加者496人 【相談件数】延べ3,326件 ⑤沖縄県 ⑥男性の家事・育児参画講座やワークライフバランス講座など、一般県民向けの各種講座を通じ、男女共同参画社会実現に向けた意識啓発が図られた。	①期間：R3.4.1～R4.3.31、場所：沖縄県男女共同参画センター ②一般 ③啓発講座、パネル展、相談事業 ④【啓発講座】8講座開催予定 【相談件数】集計中 ⑤沖縄県	子ども生活福祉部 女性力・平和推進課
	88	日本語等指導者雇用事業 (旧：日本語等指導者派遣事業、H30まで)	英語を母語とし、言語の壁や家庭、地域の事情などから、本来の学籍校（小中学校）で学ぶことが困難なためアメリカンスクール・イン・オキナワに通う児童生徒に対し、同校で実施する日本語等指導に従事する者の雇用に係る経費を補助する。	①期間：R2.4.1～R3.3.31、場所：アメリカンスクール・イン・オキナワ ②アメリカンスクール・イン・オキナワ ③日本語等指導に従事する者の雇用費用を補助 ④在籍生48名（R3.3月末時点） ⑤沖縄県 ⑥公立学校への移籍18名、私立等教育施設への移籍1名、高校進学2名	①期間：R3.4.1～R4.3.31、場所：アメリカンスクール・イン・オキナワ ②アメリカンスクール・イン・オキナワ ③日本語等指導に従事する者の雇用費用を補助 ④在籍生52名（R3.4月時点） ⑤沖縄県	子ども生活福祉部 女性力・平和推進課
	89	国際児支援体制強化事業	アメリカンスクール・イン・オキナワに通学する児童生徒が本来の学籍校（小中学校）への移動できるよう、きめ細かな学習指導、カウンセリング、高校等への進学指導を行う。	①期間：R2.4.1～R3.3.31、場所：アメリカンスクール・イン・オキナワ ②アメリカンスクール・イン・オキナワ ③同校に通う児童生徒（小4～中3）に対し、本来の学籍校への復学や進学を目標として行う、きめ細かな学習指導、カウンセリング、高校等への進路指導等の事業に要する経費を補助 ④対象児童生徒数30名 ⑤沖縄県 ⑥復学10名、高校進学2名	①期間：R3.4.1～R4.3.31、場所：アメリカンスクール・イン・オキナワ ②アメリカンスクール・イン・オキナワ ③同校に通う児童生徒（小4～中3）に対し、本来の学籍校への復学や進学を目標として行う、きめ細かな学習指導、カウンセリング、高校等への進路指導等の事業に要する経費を補助 ④対象児童生徒数24名（R3.4月時点） ⑤沖縄県	子ども生活福祉部 女性力・平和推進課
	90	人権教育指導者研修会	社会教育、社会福祉、学校関係者を対象とした人権教育の実践的研修を通して、人権に関する今日的な課題に対応できる指導者としての資質向上を図り、各現場における人権教育の新たな展開につなげる。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修を中止。人権についての理解を深めてもらうため、県立中部病院、福祉事業所有限会社フィーチャー企画様より資料を作成してもらい、特別の教科道徳の時間で活用できるよう、指導案の例示も提供。	①令和3年7月27日 オンライン研修（ZOOM） ②社会教育、社会福祉、学校関係者 ③研修『ジェンダーの視点から見た多様性』 ④200名 ⑤主催：沖縄県教育委員会	教育庁 生涯学習振興課

第8節 ボランティア活動の推進及び産業に関連した学習機会の提供

章 節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
2 部 2 章 8 節	91	ボランティア活動事業	博物館・美術館のボランティア活動をとおり、県民に自己学習と自己実現の機会を提供する。	学校団体に向けた鑑賞ツアーをサポートするガイドボランティア、美術館関連書籍や新聞を整理する資料整理ボランティアの活動があるが、令和2年度は新型コロナ感染拡大で活動が見送られた。 ボランティア勉強会1回開催	学校団体に向けた鑑賞ツアーをサポートするガイドボランティア、美術館関連書籍や新聞を整理する資料整理ボランティアの活動があるが、令和3年度は新型コロナ感染拡大で活動が制限された。見送られた。 ボランティア勉強会2回開催	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	92	ボランティア養成セミナー ※日米子ども交流キャンプを実施する内容に変更している。	日米の小学生がキャンプや体験活動を通して交流し、互いの文化を知るとともに、異文化理解や国際的な感覚を身につけることを目的とする。同時に通訳ボランティア高校生の育成を図る。	①期間・場所 ※令和2年度は中止 ②対象者：日米親子 高校生ボランティア通訳 ③内容：日米の小学生が親子でキャンプや体験活動をする。高校生ボランティアが通訳を行う。 ④募集人員は最大120名	①期間・場所 2/26～27 糸満青少年の家 ②対象者：日米親子 高校生ボランティア通訳 ③内容：日米の小学生が親子でキャンプや体験活動をする。高校生ボランティアが通訳を行う。 ④募集人員は最大120名	教育庁 生涯学習振興課
	93	生涯現役活躍支援事業	地域におけるインフォーマル活動の機能強化を図るため、人材育成、情報提供等を実施することにより、活動環境を整備し、生涯現役で活躍できる環境づくりに取り組むとともに、今後の大規模災害に備え、迅速な災害ボランティアセンターの設置・運営体制を構築するための平常時の連携体制の構築等を実施する事業。	①令和2年4月～令和3年3月 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター他 ②地域住民、NPO法人、関係機関等 ③市町村ボランティアセンターへの支援、ボランティア・NPO活動の推進支援と環境整備、ボランティア学習・福祉教育の推進、災害ボランティアセンターの運営支援等 ④地域住民、NPO法人、関係機関等 ⑤沖縄県社会福祉協議会 ⑥ボランティアに対する啓発活動を図るとともに地域住民がボランティア活動を通じて互いに支え合う社会を目指す。 市町村社協登録ボランティア団体数 673団体 (前年度比+42団体)	①令和3年4月～令和4年3月 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター他 ②地域住民、NPO法人、関係機関等 ③市町村ボランティアセンターへの支援、ボランティア・NPO活動の推進支援と環境整備、ボランティア学習・福祉教育の推進 ④地域住民、NPO法人、関係機関等 ⑤沖縄県社会福祉協議会	子ども生活福祉部 福祉政策課
	94	少年水産教室	未就業児童等を対象に、漁業者らが魚食普及及び担い手確保も狙った水産教育を実施。	①令和2年5月～7月 ②幼稚園児、小学生、中学生 ③地域漁業の講話、シャコガイ種苗生産、魚捌き体験、海岸清掃を通じた環境教育 ④50名 ⑤沖縄県漁業士会、八重山漁協 ⑥地域に即した水産教育、及び子供に加えて親や教員を対象とした教室を実施。	①令和3年5月～9月 ②小学生、中学生 ③地域漁業・水産業の講話、シャコガイ種苗生産 ④50名程度 ⑤沖縄県漁業士会、八重山漁協	農林水産部 水産課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 8 節	95	青年漁業者活動育成事業	若い担い手確保・育成、新規就業者確保及び青年漁業者の自主的活動の育成推進のための意見交換大会の実施。	新型コロナウイルス感染症蔓延防止の一環として休止	①令和3年11月5日（Zoomオンライン開催） ②青年漁業者、女性漁業者 ③青年・女性漁業者の実績発表及び意見交換、沖縄水産高校及び宮古総合実業高等学校生徒による体験発表、JICA沖縄センター所長による話題提供 ④漁業者及び関係機関等 ⑤沖縄県農林水産部、沖縄県漁連	農林水産部 水産課
	96	漁業士養成認定事業	リーダー的若手漁業者に対し、青年漁業士認定を推進するとともに、漁業士養成講座を実施する。	新型コロナウイルス感染症蔓延防止の一環として休止	①令和3年10月13日（Zoomオンライン開催） ②新規青年漁業士推薦者 ③沖縄県漁業と漁業士会について、県漁業士会会長講話、漁業士活動と国際貢献 ④新規青年漁業士認定予定者7名 ⑤沖縄県水産海洋技術センター	農林水産部 水産課
	97	未来のマリンパワー確保・育成一貫支援事業	水産教室、インターンシップ漁業体験、新規漁業就業者への漁業経費の支援を実施し、担い手の確保・育成を図る。	①令和2年8月～令和3年2月 ②小学生・高校生 ③グルクン釣り、魚捌き体験、水産加工物調理実習、一本釣り漁業体験 ④49名以上 ⑤糸満市、糸満漁協、沖縄水産高校、国頭郡、国頭漁協、辺土名小学校、奥間小学校 ⑥水産教室、インターンシップにおいては地域の漁法や水産物に対して理解が深まった。新規漁業就業者支援では、目標人数（45名）を上回る64名の支援を実施。	①令和3年5月～令和4年2月 ②小学生・中学生・高校生 ③グルクン釣り、魚捌き体験、水産加工物調理実習、一本釣り漁業体験 ④141名以上見込み ⑤糸満市、糸満漁協、沖縄水産高校、国頭郡、国頭漁協、辺土名小学校、奥間小学校	農林水産部 水産課
	98	農業教育支援	小・中・高校生を対象に農業体験学習活動を支援し、農業体験受入体制の整備を図る。	①令和3年2月2及び令和3年3月15日・中部地区 ②小学生等 ③農業体験 ④北中城小2年生60名、島袋小20名 ⑤北中城村、沖縄市 ⑥農業に対する理解の醸成	①新型コロナウイルス感染症対策のため中止・中部地区 ②小学生等 ③農業体験 ④未定 ⑤未定	農林水産部 営農支援課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 8 節	99	林業教室	林業従事者や県民に対して森林・林業に関する技術及び知識の普及を図る。	①令和2年4月～令和3年3月・県内各地 ②林業従事者、市町村担当者 ③きのこ生産、森林施業、森林病虫害防除、林業労働安全指導等 ④25回、255人 ⑤県 ⑥林業従事者、市町村担当者の知識、技術の向上	①令和3年4月～令和4年3月・県内各地 ②林業従事者、市町村担当者 ③きのこ生産、森林施業、森林病虫害防除、林業労働安全指導等 ④17回、173人 ⑤県 ⑥林業従事者、市町村担当者の知識、技術の向上	農林水産部 森林管理課
	100	森林・林業体験学習会	青少年をはじめとする一般県民に対して林業への理解を促進するとともに林業後継者の育成確保を図る。	①令和2年4月～令和3年3月・県内各地 ②県民、児童 ③木育 ④7回、103人 ⑤県 ⑥県民、児童へ森林の働き、木材利用の意義等を普及した	①令和3年4月～令和4年3月・県内各地 ②県民、児童 ③木育 ④2回、40人 ⑤県 ⑥県民、児童へ森林の働き、木材利用の意義等を普及した	農林水産部 森林管理課
	101	おきなわ県政出前講座	職員が県民のもとに直接出向き、県が重点的に取り組む事業や県政の課題等についてわかりやすく説明する。	①通年：申込者が用意した沖縄県内の会場 ②おおむね20名以上の県民が参加する集会 ③県政全般、観光・自然、米軍基地関連等15分野113の講座を開設。 ④高校・大学・専門学校、企業、自治会、任意団体等。実施回数19回、受講者849人。 ⑤講座を所管する各所管課・所 ⑥講座を通して県政情報をわかりやすく県民に伝えることが出来た。	①通年：申込者が用意した沖縄県内の会場 ②おおむね20名以上の県民が参加する集会 ③県政全般、観光・自然、米軍基地関連等15分野106の講座を開設。 ④高校・大学・専門学校、企業、自治会、任意団体等。 ⑤講座を所管する各所管課・所	知事公室 広報課
	102	緑の学園開催事業（オープンキャンパス）	将来、農業経営者及び農業関係の業務に従事しようとする高校生を対象に、農業大学校において農業の実践学習の体験、先進農家の見学等を行い、農業への関心と理解を深め、就農及び研修意欲の向上を図る。＊農業の現状、地域農業振興等の講義＊農場等における実務実習＊先進農家等の視察研修	①期間・場所： 第1回 令和2年6月11日（コロナ影響により中止） 第2回 令和2年7月11日・農業大学校 ②対象者： 第1回：当該年度卒業見込の高校3年生 第2回：高校2年生及び社会人 ③内容・方法： ○農業体験・視察研修 ○在校生の学校紹介、入試説明 ○農大産の食材使用した食事体験 ④実施回数：1回（第1回中止、第2回23名） ⑤実施団体：県立農業大学校 ⑥成果：農業に関する理解を深め、参加者の半数は農業大学校入学に至っている。	①期間・場所： 第1回 令和3年6月4日（コロナ影響により中止） 第2回 令和3年7月10日・農業大学校 ②対象者： 第1回：当該年度卒業見込の高校3年生 第2回：高校2年生及び社会人 ③内容・方法： ○農業体験・視察研修 ○在校生の学校紹介、入試説明 ○農大産の食材使用した食事体験 ④実施回数：1回（第1回中止、第2回38名） ⑤実施団体：県立農業大学校	農林水産部 営農支援課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 8 節	103	農薬安全対策事業	農薬による危害の防止及び農薬の適正な流通を図るため、農薬取扱者を対象に講習会を開催する。 ・時期：6月～9月 ・場所：本島、宮古、八重山地区	①期間・場所 令和3年3月1日～16日 ②対象者：県関係機関、市町村、農協、農薬販売者、農薬使用者、毒物及び劇物取扱業者・業務上取扱者 ③内容・方法：講習書類送付及び理解度テスト ④参加者（実施）数：108名（回答提出者数） ⑤実施団体：県 ⑥成果：新型コロナウイルスの影響により、開催方法等が変更となったが、農薬の適正な使用方法、管理について周知が図られた。	①期間・場所 令和4年2月～3月 ②対象者：県関係機関、市町村、農協、農薬販売者、農薬使用者、毒物及び劇物取扱業者・業務上取扱者 ③内容・方法：講習書類送付及び理解度テスト ④参加者（実施）数：未定 ⑤実施団体：県	農林水産部 宮農支援課
	104	農業青年リーダー研修会	青年農業者相互の交流を図りながら、情報・意見交換等を行い、農村地域のリーダー及び農業青年クラブリーダーとしての自覚と自信を持たすよう啓発を行う。	①期間・場所 県内・県外 令和2年4月1日～令和3年3月31日 ②対象者：県内 農業青年クラブ会員 ③内容・方法：講習会及び研修会 ④参加者（実施）：56回 339人 ⑤実施団体：沖縄県農業青年クラブ連絡協議会等	①期間・場所 県内・県外 令和3年4月1日～令和4年3月31日 ②対象者：県内外 農業青年クラブ会員等 ③内容・方法：発表会及び研修会 ④参加者（実施）：300名程度（見込み） ⑤実施団体：沖縄県農業青年クラブ連絡協議会等	農林水産部 宮農支援課
	105	さとうきび増産体制フォローアップ事業	各地域の実情に応じた農作業受託組織等の生産者集団・組織の強化、支援を行うことにより、さとうきびの生産性の向上を図る。	(1)指導農業機械士養成研修 新型コロナウイルス感染防止のため中止 (2)農業機械士養成研修 ①10～11月・竹富町、12月・農業大学校、10月～2月・農業大学校(学生) ②農業者、県市町村職員、団体職員、学生等 ③機械構造機能、点検整備、効率利用、農作業安全等 ④竹富町・11名、農業大学校7名、学生37名 ⑤農業大学校 ⑥農業機械士認定 (3)農業機械メンテナンス研修 新型コロナウイルス感染防止のため中止 (4)さとうきび収穫機械オペレータ養成研修 ①12月・読谷村、石垣市 ②農業機械オペレータ、農業機械士等 ③収穫機械操作方法、保守点検、安全対策等 ④読谷村13名、石垣市18名 ⑤沖縄県糖業農産課 ⑥収穫機械操作の技術獲得、安全対策	(1)指導農業機械士養成研修 ①8月・農業大学校 ②農業機械士（経験年数3年以上） ③指導手法、機械導入利用計画、資材管理、安全管理等 ④10名 ⑤農業大学校 (2)農業機械士養成研修 ①8月・農業大学校、10～11月・宮古島市、7～2月・農業大学校(学生) ②農業者、県市町村職員、団体職員、学生等 ③機械構造機能、点検整備、効率利用、農作業安全等 ④本島15名、宮古島市15名 ⑤農業大学校 (3)農業機械メンテナンス研修 ①8月・農業大学校 ②農業者、県市町村職員、団体職員、農機販売店職員等 ③農業機械の導入利用計画、運営管理、経済性、安全性 ④10名 ⑤農業大学校 (4)さとうきび収穫機械オペレータ養成研修 ①(基礎研修)12月・本島、宮古島市 (実技研修)12月・本島、宮古島市 ②農業機械オペレータ、農業機械士等 ③収穫機械操作方法、保守点検、安全対策等 ④基礎研修30名、実技研修30名 ⑤沖縄県糖業農産課	農林水産部 糖業農産課 (農業大学校)

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 8 節	106	就農サポート講座	職業としての農業に関心のある一般県民や就農予定者等を中心に、新規就農に関する基礎的な知識及び技術を習得できる講座制研修や農作業の体験研修を実施する。	①期間・場所： 入門編 ※新型コロナの影響により中止 実践編 ※新型コロナの影響により中止 ②対象者：就農希望者 ③内容・方法：基礎講座、基礎実習、農家研修 ④実施回数：2回（計一名） ⑤実施団体：県 ⑥成果：農業基礎知識の取得	①期間・場所： 入門編 ※新型コロナの影響により中止 実践編 ※新型コロナの影響により中止 ②対象者：就農希望者 ③内容・方法：基礎講座、基礎実習、農家研修 ④実施回数：2回（計一名） ⑤実施団体：県	農林水産部 営農支援課
	107	就農支援講座	地域農業の担い手として期待される新規就農者等に対して、栽培技術取得等のための講座を開催する。	①期間・場所：通年、5地区 ②対象者：新規就農者等 ③内容・方法：栽培技術に関する講演等 ④実施回数：81回 ⑤実施団体：各地区農でグッジョブ推進会議 ⑥成果：農業知識等の取得	①期間・場所：通年、5地区 ②対象者：新規就農者等 ③内容・方法：栽培技術に関する講演等 ④実施回数：80回 ⑤実施団体：各地区農でグッジョブ推進会議	農林水産部 営農支援課
	108	観光学習への支援	子供たちに観光という視点から沖縄の歴史・文化、自然を学び、世界へ誇れる沖縄の魅力を理解してもらおうと共に、子供たちに沖縄県民の一人として、観光客を温かく迎える「おもてなしの心」を自発的に育んでもらうために、「沖縄県『めんそーれ沖縄』観光学習教材」を作成し、県内小学4年生へ配布すると共に、教材を活用した観光教育への支援を行う。	①R2年度にデジタル版へ移行したため、紙での印刷配布実績無し。 ②県内の小学4年生 ③「沖縄県 観光学習教材」を県内の小学4年生全員に配布。（デジタル版へ以降したため、QRコードにて配布。（紙での印刷配付は無し）） ④県内の小学4年生 ⑤沖縄県・沖縄観光コンベンションビューロー ⑥県内の小学4年生に対して観光に対する理解促進を図ることができた。	①R2年度にデジタル版へ移行したため、紙での印刷配布実績無し。 ②県内の小学4年生 ③「沖縄県 観光学習教材」を県内の小学4年生全員に配布。（デジタル版へ以降したため、QRコードにて配布。（紙での印刷配付は無し）） ④県内の小学4年生 ⑤沖縄県	文化観光スポーツ部 観光振興課
109	子供科学技術人材育成事業	県内研究機関や児童福祉施設等の連携により、小中高生を対象に、科学に関する教育プログラムを実施する。併せて、小規模離島での科学教育プログラムの実施や子供達のキャリアデザイン形成に向けた取組を実施する。	①期間：令和2年5月から令和3年3月まで 場所：児童保育施設、学校（中学、高校）、大学・研究機関等 ②児童（親子含む）、中学生、高校生 ③実験ショーや科学工作教室の開催、地域の研究者・技術者による実習・講座の開催等 ④約4,900人（親等を含む） ⑤（公財）沖縄こどもの国、（公財）日本科学技術振興財団、（一財）沖縄県公衆衛生協会、（同）MIRAIME.Lab ⑥児童及び生徒に対し成長段階に応じた科学教育プログラムを実施することで、科学に対する興味・関心を高めることができた。	①期間：令和3年5月から令和4年3月まで 場所：児童保育施設、学校（中学、高校）、大学・研究機関等 ②児童（親子含む）、中学生、高校生 ③実験ショーや科学工作教室の開催、地域の研究者・技術者による実習・講座の開催等 ④約2,700人（親等を含む） ⑤（公財）沖縄こどもの国、（公財）日本科学技術振興財団、（一財）沖縄県公衆衛生協会	企画部 科学技術振興課	

章 節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
2 部 2 章 8 節	110	インターンシップ推進事業	就業体験受入事業所に、全日制全高等学校生徒の連続3日以上を受入事業所開拓を委託し、生徒が就業体験により将来の選択肢を広められるよう充実したインターンシップ事業を実施する。また、事前・事後学習に重点を置き、豊かな人間性や社会性、望ましい勤労観・職業観を育み、基本的なマナーや異世代とのコミュニケーション能力の育成を図る	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から原則中止とした。 ③各学校においては、外部人材を活用した職業人講話、マナー講座、職業理解などの取り組みを実施し、生徒の勤労観・職業観の育成に努めた。 ⑥感染症対策を講じながら、各学校で工夫し、外部人材等を活用した職業人講話等を実施できた。	①令和2年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から原則中止とした。 ③代替として、「高度人材育成インターンシップ」を実施。7月26日～8月27日の期間で受入事業所の指定する3日間を就業体験。 ④県立高等学校の希望する生徒約90名 ⑤主催：沖縄県教育委員会（委託業者：株式会社ケイオーパートナーズ）	教育庁 県立学校教育課
	111	インターンシップ拡大強化事業	就業観の醸成や視野の拡大を図り、早期の進路決定を促すことによって、県内高校生の就職内定率の改善を図るための県外インターンシップ	新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	県内の有効求人倍率の改善や県内企業人手不足を背景として、R3をもって事業終了予定だったが、新型コロナウイルスの影響により事業の実施が困難なことから前倒しで事業を終了した。	商工労働部 雇用政策課

第3部 生涯学習実施機関の充実

第1章 生涯学習推進センターの充実

第1節 「沖縄県生涯学習推進センター」の機能充実

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
3 部 1 章 1 節	112	社会教育主事講習 [B] (沖縄会場) の実施・充実	県、市町村の生涯学習・社会教育関係職員や学校関係職員、社会教育に関心のある県民を対象に、社会教育主事となる資格取得のため、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが行う社会教育主事講習[B]を受講する機会を提供する。	①令和3年1月21日～2月18日 (南部合同庁舎4階第1・第2会議室) ②社会教育主事講習規定第2条各号のいずれかに該当する者 ③生涯学習概論、社会教育経営論、生涯学習支援論、社会教育演習の科目をライブ配信、集合研修等で行った。 ④受講者24名(教職員・市町村社会教育担当者・その他) ⑤主催・・・国立教育政策研究所社会教育実践研究センター ⑥市町村の社会教育主事配置率の向上(令和3年4月1日現在43.9%)、受講者の資質向上、ネットワーク構築。	①令和4年1月24日～2月21日 (南部合同庁舎4階第1・第2会議室) ②社会教育主事講習規定第2条各号のいずれかに該当する者 ③生涯学習概論、社会教育経営論、生涯学習支援論、社会教育演習の科目をライブ配信、集合研修等で実施する。 ④受講予定者24名(申請中) ⑤主催・・・国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	教育庁 生涯学習振興課
	113	生涯学習指導者等の養成・研修	県・市町村の生涯学習・社会教育施設等指導者の資質向上研修会等を行い、県内各地で行われる生涯学習・社会教育の取り組みを促進する	1. 生涯学習関係職員研修会 ①令和2年10月16日 (南部合同庁舎4階第1・第2会議室) ②教育庁社会教育主事・市町村生涯学習担当者 ③学習プログラムの開発、講演会の実施・ワークショップ ④参加者21名 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥生涯学習に係る学習ニーズの把握及び生涯学習推進センター関連事業との連携協力が深まり、県社会教育主事と、市町村生涯学習担当者の資質向上が図られた。 2. 県社会教育主事専門講座 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催なし。	1. 生涯学習関係職員研修会(オンライン) ①令和3年10月19日 (南部合同庁舎4階第1・第2会議室) ②教育庁社会教育主事・市町村生涯学習担当者 ③生涯学習関係職員としての資質を高める、県内の社会教育基盤の向上に資する。 ④教育庁社会教育主事・市町村生涯学習関係者 ⑤沖縄県教育委員会 2. 県社会教育主事専門講座 ①令和3年11月22日 (県庁7階4会議室) ②沖縄県教育庁の社会教育主事等 ③県の指導的立場にある社会教育主事としての力量を高めるとともに、相互の情報を共有する。 ④教育庁社会教育主事等 ⑤沖縄県教育委員会	教育庁 生涯学習振興課
	114	おきなわ県民カレッジ	県民の多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係団体等で実施している広域的な生涯学習に関する講座等を体系化し、県民に学習情報及び学習機会を効果的に提供する。 1. 主催講座 (1)「美ら島沖縄学講座」 (2)「広域学習サービス講座」 (3)「学校開放講座」 2. 連携講座	①令和2年4月～令和3年3月 (社会教育施設、高等教育機関、各種関係団体施設等) ②主として沖縄県内に居住する者 ③主催講座、連携講座の実施 ④県民一般 ⑤沖縄県教育委員会、県内大学、各市町村等 ⑥主催講座32実施(受講者932名) 連携講座1,471実施(受講者数把握なし)	①令和3年4月～令和4年3月 (社会教育施設、高等教育機関、各種関係団体施設等) ②主として沖縄県内に居住する者 ③主催講座、連携講座の実施 ④県民一般 ⑤沖縄県教育委員会、県内大学、各市町村等	教育庁 生涯学習振興課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
3 部 1 章 1 節	115	沖縄県生涯学習情報提供システム	国・県・市町村の生涯学習施設、機関・団体、高等教育機関、民間教育事業者等が持っている生涯学習に関する情報を収集、体系化し、webサイト「まなびネットおきなわ」を通して、県民への生涯学習情報を提供する。	①令和2年4月～令和3年3月 (生涯学習推進センター) ②主として沖縄県内に居住する者 ③インターネットを活用して、講座・研修・お知らせ、指導者・講師情報、視聴覚教材情報等を提供している。 ④情報提供機関は、県関係機関、市町村関係機関、大学等、視聴覚施設 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥まなびネットおきなわへのアクセス数は47,878件で、前年度(令和元年度：44,019件)より増加した。	①令和3年4月～令和4年3月 (生涯学習推進センター) ②主として沖縄県内に居住する者 ③インターネットを活用して、講座・研修・お知らせ、指導者・講師情報、視聴覚教材情報等を提供している。 ④情報提供機関は、県関係機関、市町村関係機関、大学等、視聴覚施設 ⑤沖縄県教育委員会	教育庁 生涯学習振興課
	116	沖縄県遠隔講義配信システム	いつでも、どこでも学べる環境作りのため、沖縄県遠隔講義配信システムから、おきなわ県民カレッジ等の講座を配信することにより、離島や遠隔地等の居住者を含む県民の学習機会の拡充を図る。	①令和2年4月～令和3年3月 (生涯学習推進センター) ②主として沖縄県内に居住する者 ③遠隔講義配信システムを活用し、おきなわ県民カレッジ主催講座のライブ配信、オンデマンド配信を行った。 ④主として沖縄県内に居住する者 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥おきなわ県民カレッジ主催講座のライブ配信を5回行った。県教育委員会等が主催する講座等をオンデマンド教材として35本制作・配信した。それにより、個々の経済的・地理的・時間的制約に左右されない公平な学習機会を提供することで、遠隔地や離島を含む多くの県民の学習機会の拡充を図ることができた。	①令和3年4月～令和4年3月 (生涯学習推進センター) ②主として沖縄県内に居住する者 ③遠隔講義配信システムを活用し、おきなわ県民カレッジ主催講座のライブ配信、オンデマンド配信を行う。 ④主として沖縄県内に居住する者 ⑤沖縄県教育委員会	教育庁 生涯学習振興課
	117	生涯学習に関する県民意識や学習ニーズの調査研究	生涯学習に関する県民意識や学習ニーズ等の全県的な調査を実施する。その調査等を基に新たな学習プログラムを開発し、市町村等への提供に努める。さらに、学んだ成果の適切な評価及び活用の在り方について研究する。	1. 生涯学習講座の実施状況調査 ①令和元年4月1日～令和2年3月31日実績 ②各市町村教育委員会 ③各市町村教育委員会が実施した講座や公民館講座等の回数、内容、対象者、受講者数を調査し、分析した内容を市町村へ提供した。 ④調査対象者・・・沖縄県内の全市町村住民 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥県民の意識やニーズの変化及び行政に対する要望を把握することができた。 2. 沖縄県生涯学習に関する県民意識調査 ①令和2年4月～令和3年3月 ②20歳以上の県民 ③郵送並びにインターネットにより、県民の意識やニーズの変化及び行政に対する要望を調査した。 ④調査対象者・・・那覇市、名護市、宮古島市、南風原町、中城村 ⑤沖縄県教育委員会 ⑥県民の生涯学習に対する動向を集約・分析し、教育施策の基礎資料とした。	1. 生涯学習講座の実施状況調査 ①令和2年4月1日～令和3年3月31日実績 ②各市町村教育委員会 ③各市町村教育委員会が実施した講座や公民館講座等の回数、内容、対象者、受講者数を調査し、分析した内容を市町村へ提供した。 ④調査対象者・・・沖縄県内の全市町村住民 ⑤沖縄県教育委員会 2. 沖縄県生涯学習に関する県民意識調査 次回調査は令和7年度実施予定	教育庁 生涯学習振興課

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
3 部 1 章 1 節	118	視聴覚ライブラリーの整備・充実	<p>視聴覚教材・機材（DVD、ビデオテープ、プロジェクター、スクリーン、ワイヤレスアンプ等）の貸出を行うとともに、視聴覚に関する相談に応じる。</p> <p>また、地域社会・学校と連携し、情報モラル・情報セキュリティに関する学習を推進する。</p>	<p>1. 視聴覚教材・機材の整備、貸出および視聴覚教育・情報教育に関する相談対応</p> <p>①令和2年4月～令和3年3月 （生涯学習推進センター）</p> <p>②学校、社会教育施設その他地域において教育活動を行う者等</p> <p>③視聴覚教材・教材を整備し貸出を行う。</p> <p>④学校、社会教育施設その他地域において教育活動を行う者等</p> <p>⑤沖縄県教育委員会</p> <p>⑥視聴覚教材・機材の利用状況は、視聴覚教材27件（R元年度52件）、視聴覚機材431件（R元年度574件）であった。</p> <p>2. 資質向上研修会 情報教育指導者養成講座 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催なし。</p>	<p>1. 視聴覚教材・機材の整備・充実および視聴覚教育・情報教育に関する相談対応</p> <p>①令和3年4月～令和4年3月 （生涯学習推進センター）</p> <p>②学校、社会教育施設その他地域において教育活動を行う者等</p> <p>③視聴覚教材・教材を整備し貸出を行う。</p> <p>④学校、社会教育施設その他地域において教育活動を行う者等</p> <p>⑤沖縄県教育委員会</p> <p>2. 資質向上研修会 情報教育指導者要請講座</p> <p>①令和3年8月31日（生涯学習推進センター）</p> <p>②県、市町村の学教教育関係職員及び社会教育関係職員</p> <p>③授業目的公衆送信補償金制度・ZOOM等を用いた遠隔会議（オンライン参加）</p> <p>④県、市町村の学教教育関係職員及び社会教育関係職員</p> <p>⑤沖縄県教育委員会</p>	教育庁 生涯学習振興課

第2章 生涯学習実施機関における「学び」のあり方（社会教育施設の充実）

第1節 読書活動及び図書館の充実

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
3 部 2 章 1 節	119	離島読書活動支援事業・充実事業	移動図書館や一括貸出等の取組を通して、離島図書館未設置村、離島・へき地を含め県内全域に等しく図書館サービスを提供することにより、児童生徒等の読書活動の充実を図る。	①期間：通年 ②対象者：図書館未設置町村、離島・へき地の児童生徒等 ③内容：移動図書館、一括貸出、協力貸出 ④参加者等：移動図書館22回※コロナの影響で23回中止（貸出人数1,454人、貸出冊数：11,770人）、一括貸出40,188冊、協力貸出3,100冊 ⑤実施団体：県立図書館 ⑥成果：読書サービスの充実、利用者の読書への興味・関心の高まりがみられた。	①期間：通年 ②対象者：図書館未設置町村、離島・へき地の児童生徒等 ③内容：移動図書館、一括貸出、協力貸出 ④参加者等：移動図書館42回。一括貸出35,000冊 ⑤実施団体：県立図書館	教育庁 生涯学習振興課
	120	「子ども読書の日」記念事業 ※読書フォーラム（子ども読書の日、文字・活字文化の日）の実施形態を変更	県内の子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境を整備することを目指し、4月23日の「子ども読書の日」を記念して、『沖縄県「子ども読書の日」記念事業』を開催する	①期間：令和2年4月19日（県立図書館）＜中止＞ ②対象者：子どもの読書活動に関心のある方、幼児・児童・生徒 ③内 容：クイズラリー、子ども読書指導員による実演（紙芝居等） ④参加者数：中止 ⑤実施団体：県教育委員会	①期間：令和3年4月25日（県立図書館） ②対象者：子どもの読書活動に関心のある方、幼児・児童・生徒 ③内 容：読み聞かせ会、バックヤードツアー ④参加者数：約50名 ⑤実施団体：県教育委員会	教育庁 生涯学習振興課
	121	図書館の情報システム整備事業	県立図書館の蔵書情報を電算化して図書館資料の利用を円滑化するほか、図書館情報をインターネット上に公開して図書館利用の利便性を向上させる。また、県内公共図書館等の蔵書を横断検索できるようにして県民の調査・研究に貢献する。	①通年 沖縄県立図書館 ②県民及び公立図書館等 ③図書館資料データ入力、図書館情報のホームページ公開、横断検索システムの維持・参加館拡大 ④ 37 館（横断検索参加館数） ⑤県立図書館 ⑥資料データの増加	①通年 沖縄県立図書館 ②県民及び公立図書館等 ③図書館資料データの入力、図書館情報のホームページ公開、横断検索システムの維持・参加館拡大 ④ 37 館（横断検索参加館数） ⑤県立図書館	教育庁 生涯学習振興課 （県立図書館）
	122	知の拠点パワーアップ事業	新たな時代の多様化、高度化した社会のニーズに応えられるよう、図書館の機能高度化を図る。	①期間：通年 ②内容：広範囲な分野の資料収集、課題解決支援機能の高度化、職員の専門性やサービスの向上 ③参加者等：資料11,923冊購入、雑誌161タイトル及び新聞23紙の購読、レファレンス協同データベース（国立図書館実施事業）の登録件数11件、司書有資格者3名増 ④実施団体：県立図書館 ⑤成果：利用者の多様なニーズに対応することができた。	①期間：通年 ②内容：広範囲な分野の資料収集、課題解決支援機能の高度化、職員の専門性やサービスの向上 ③参加者等：資料9000冊購入、雑誌170タイトル及び新聞23紙の購読、レファレンス協同データベース（国立図書館実施事業）の登録件数11件、司書有資格者2名増 ④実施団体：県立図書館 ⑤今後の対策：県（民）の課題解決力の向上に資するよう、医療健康サービス及び子育て支援にレファレンスを強化する。また、引き続き資料の質・量、職員の専門性やサービスの向上を図る。	教育庁 生涯学習振興課
	123	公立図書館職員研修会	公立図書館司書並びに図書館関係職員を対象に、専門職員としての資質向上を図るため、図書館業務の各専門的領域における知識・技術の向上を図る。	平成30年度から実施なし	①期間 令和3年7月30日～8月13日（オンデマンド配信による開催） ③対象 公立図書館司書並びに図書館関係職員 ③内容 図書館の自由とプライバシー保護について ④オンデマンド ⑤実施団体 沖縄県立図書館	教育庁 生涯学習振興課 （県立図書館）

第2節 青少年教育施設と体験活動の充実

章節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
3 部 2 章 2 節	124	青少年教育施設職員研修会	青少年教育施設職員を対象に、職務に必要な知識・技能等に関する実践研修、情報交換を通して、青少年教育施設職員としての資質向上に資する。	①期間：令和2年4月7～8日（県立石川青少年の家） ※コロナの影響により中止 ②対象者：県立青少年の家所長、事務長、専門職員、用務員その他指定管理関係職員、国立沖縄青少年交流の家職員、県内青少年教育施設関係者、県教育庁生涯学習振興課職員 ③内 容：全体会、専門部会、活動プログラム養成研修 ④参加者数：中止 ⑤実施団体：県教育委員会	①期間：令和3年4月7～8日（県立糸満青少年の家） ②対象者：県立青少年の家所長、事務長、専門職員、用務員その他指定管理関係職員、国立沖縄青少年交流の家職員、県内青少年教育施設関係者、県教育庁生涯学習振興課職員 ③内 容：全体会、専門部会、活動プログラム養成研修 ④参加者数：52人 ⑤実施団体：県教育委員会 ※コロナの影響により、参加者数、プログラム内容等に制限があった。	教育庁 生涯学習振興課
	125	青少年教育施設計画訪問	県立青少年の家を訪問し、青少年教育における受入事業、主催事業並びに自主事業の成果を広く共有するとともに次年度の「青少年教育施策」に活かし、本県の青少年教育および体験学習の推進に資する。	①期間：令和2年7月21日（玉城）、7月22日（名護）、7月29日（宮古）、8月28日（石川）、9月11日（糸満）、10月13日（石垣） ②対象者：県教育庁生涯学習振興課職員（2～3名）、県立青少年の家職員（3～4名） ③内 容：施設見学、事業視察、取組説明、研究協議 ④参加者数：5～6人 ⑤実施団体：県教育委員会 ⑥各施設を訪問することで、施設面や運営面での課題を詳細に把握することができた。	①期間：令和3年10月28日（糸満）、11月4日（名護）※コロナの影響により、未実施施設あり ②対象者：県教育庁生涯学習振興課職員（2～3名）、県立青少年の家職員（3～4名） ③内 容：施設見学、事業視察、取組説明、研究協議 ④参加者数：5～6人 ⑤実施団体：県教育委員会	教育庁 生涯学習振興課

第3節 博物館・美術館等の活用

章 節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
3 部 2 章 3 節	126	学校連携事業（県立博物館・美術館）	教育現場と連携した博物館・美術館学習を実施し、子どもたちに早くから沖縄の自然・歴史・文化に接する機会を与え、郷土に関心を持たせる。	①不定期 沖縄県立博物館・美術館 ②小・中・高校生 ③学習プログラムによる鑑賞 ④生徒、職員 6校 149名 ⑤沖縄県、沖縄美ら島財団(指定管理者) ⑥児童生徒に沖縄の自然、歴史、文化に接する機会を提供し郷土への関心を持たせる	①不定期 沖縄県立博物館・美術館 ②小・中・高校生 ③学習プログラムによる鑑賞 ④生徒、職員 5校 283名 ⑤沖縄県、沖縄美ら島財団(指定管理者)	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	127	学校招待事業（県立博物館・美術館）	教育現場と連携し出前授業での鑑賞の学習や美術館での鑑賞をとおして、子どもたちの美術作品への関心を高めるとともに、感じたこと思ったことなど対話による表現力を高める。美術館への学校の来館の交通費は美術館が負担する	①不定期 沖縄県立博物館・美術館 ②県内小・中・特別支援学校を公募 ③美術館側がバスを準備 ④3校 154名 ⑤沖縄県、沖縄美ら島財団(指定管理者) ⑥鑑賞ボランティアや学芸員との対話による鑑賞を行うことで美術作品への関心を高める ⑦予算の確保	令和2年度事業終了 教育普及予算削減のためバス招聘の本事業の見直しを行う。	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	128	ワークショップ（県立博物館・美術館）	展覧会内容と関連させたワークショップを開催することで展示内容への関心を高めたり、講師による実技指導をとおして参加者の造形的技能の向上と美術への関心を高める	①令和2年10月 県民アトリエ、こどもアトリエ ②親子、児童生徒 ③「稲嶺成祚展」関連催事 子ども対象のワークショップ ④14名 ⑤沖縄県、沖縄美ら島財団(指定管理者) ⑥美術作品への関心と造形的表現への関心を高める	コロナ禍において発信できるギャラリートークなどオンラインによる配信イベントを中心に企画したため実施なし。	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)
	129	夏休み博物館学芸員教室（県立博物館・美術館）	『答えを教えるのではなく、答えを探し出す手立てを教える。』、従来の相談持ち込み（待機型）から教室の開催へ（発信型） ・学芸員からの指導を通して、自由研究のきっかけを感じ取れるようにするとともに、博物館学習を通して、自学、研究を促進する。	①令和2年10月31日、11月1日、11月3日 ②沖縄県立博物館・美術館実習室 ③県内の小・中学生 ④勾玉づくり、岩石研究、標本づくり等 ⑤沖縄県・沖縄美ら島財団（指定管理者） ⑥沖縄の自然、歴史、文化に関する自由研究や調査研究について学ぶ機会の提供。	①令和3年10月23日、24日、30日 ②沖縄県立博物館・美術館実習室 ③県内の小・中学生 ④家系図づくり、古銭づくり、聞句体験、標本づくり、岩石研究、民話上映会等 ⑤沖縄県・沖縄美ら島財団（指定管理者）	文化観光スポーツ部 文化振興課 (県立博物館・美術館)

第4節 平和祈念資料館の活用

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
3 部 2 章 4 節	130	教育普及事業（平和祈念資料館）	（児童・生徒の平和メッセージ事業） 県内小中学校及び高等学校、特別支援学校を対象に、「図画・作文・詩」を募集し、入賞作品を県内数カ所で巡回展を行うことを通して、平和のメッセージを発信する。	①期日・場所： (1) 沖縄県平和祈念資料館 7月28日～8月31日 11月21日～1月31日 (2) 石垣市八重山平和祈念館 9月11日～9月22日 (3) 宮古島市未来創造センター10月1日～10月13日 ②県内小・中学校及び高等学校、高等専門学校、特別支援学校の児童・生徒 ③図画、作文、詩を募集し、入賞作品を展示・広報することで平和のメッセージを発信する。 ④応募数 2,593点 ⑤沖縄県平和祈念資料館 ⑥コロナ禍においても多くの応募があり、児童・生徒が平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会となった。また、展示会を通して広く県内外の人々へ沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを届ける機会となった。	①期日・場所： (1) 石垣市 八重山平和祈念館 7月14日～7月22日 (2) 宮古島市 宮古島市未来創造センター 7月29日～8月3日 (3) 那覇市 沖縄県立図書館 10月1日～10月11日 (4) 沖縄県平和祈念資料館 1月14日～2月20日 ②県内小・中学校及び高等学校、高等専門学校、特別支援学校の児童・生徒 ③図画、作文、詩を募集し、入賞作品を展示・広報することで平和のメッセージを発信する。 ④応募数 2,942点 ⑤沖縄県平和祈念資料館	子ども生活福祉部 女性力・平和推進課
			（沖縄戦講座シンポジウム） 日本における唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘であった沖縄戦の実相や、戦後、基地との関わりの中で復帰するまでの道のり等において、その歴史的教訓からの学びを通して、平和について考える機会を提供する。	①期日：令和3年2月21日、3月21日 場所：沖縄県平和祈念資料館 2F大会議室 ②県民 ③「子や孫と沖縄戦と平和について学び合う」きっかけとしての大人向けの沖縄戦講座と常設展示室見学。入門編ということで、沖縄戦の実相と教訓を理解し、平和について考える機会とする。 ④参加者：2月(17名)、3月(19名) ⑤沖縄県平和祈念資料館 ⑥成果：戦争体験者と「次世代」(若者)間にある価値観の違い等の溝を埋める架け橋となってほしい「大人世代」を対象とした平和講話及び常設展示室見学を実施し、沖縄戦を理解し平和について考える場を提供することができた。	①期日：令和3年10月24日、11月28日、12月26日 2月27日、3月27日 場所：沖縄県平和祈念資料館 2F大会議室 ②県民 ③「子や孫と沖縄戦と平和について学び合う」きっかけとしての大人向けの沖縄戦講座と常設展示室見学。入門編ということで、沖縄戦の実相と教訓を理解し、平和について考える機会とする。 ④参加者：10月(10名)、11月(2名)、12月(5名) ⑤沖縄県平和祈念資料館	子ども生活福祉部 女性力・平和推進課

第5節 公民館等施設の充実

章 節	事業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	令和3年度見込み ①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	担当部局課・室名
3 部 2 章 4 節	131	沖縄県公民館研究大会	県内の公民館や生涯学習・社会教育の関係者が一堂に会し、講演を聞いたり、分科会において各地区の実践の成果を交流し合い、日常の公民館活動のに生かし、地域社会への貢献をめざして研究協議を行う。	①令和2年10月23日（金）～誌面・Web開催（南部大会） ②公民館関係者、社会教育行政関係者、社会教育関係団体関係者、本大会のテーマに関心のある方 ③優良公民館、優良公民館職員表彰、講演、分科会 ④大会冊子申込数460冊 ⑤主催：沖縄県公民館連絡協議会 南部地区公民館連絡協議会 ⑥各公民館活動の活性化につながった。	①令和3年11月19日（金）名護中央公民館（北部オンライン大会） ②公民館関係者、社会教育行政関係者、社会教育関係団体関係者、本大会のテーマに関心のある方 ③優良公民館、優良公民館職員表彰、講演、分科会 ④大会冊子申込数369冊 ⑤主催：沖縄県公民館連絡協議会 北部地区公民館連絡協議会	教育庁 生涯学習振興課

第4部 生涯学習社会をささえる

第4節 社会教育関係団体等との連携

章 節	事 業 N o	事業名	事業内容	令和2年度実績	令和3年度見込み	担当部局課・室名
				①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等 ⑤実施団体⑥成果	①期間・場所②対象者③内容方法 ④参加者等⑤実施団体	
4 部 4 節	132	沖縄県社会教育研究大会	県内の社会教育委員をはじめ、社会教育関係団体及び学校教育関係者が一堂に会し、各地域における社会教育の推進に必要な情報を得るとともに、実践事例に関する情報を共有し、時代の変化に対応した社会教育の創造をめざして研究協議を行う。	①令和2年11月20日（金）読谷村文化センター鳳ホール ②社会教育行政関係者, 社会教育関係団体, 学校教育関係者, その他本大会のテーマに関心のある方・NPO・学生 ③九州ブロック大会と同時開催。当日全体会のみ開催、講演：高良倉吉先生 分科会はオンデマンド配信 ④県内208名 県外469名（オンライン参加） ⑤主催：九州ブロック社会教育委員連絡協議会・一般社団法人全国社会教育委員連合・沖縄県社会教育委員連絡協議会・沖縄県教育委員会 ⑥「地域への愛着を深め、新たな地域づくりをめざす社会教育」と題し、講演や実践事例の配信を通して、社会教育活動の充実を図ることができた。	①令和4年1月28日（金）国頭地区（オンライン開催） ②社会教育行政関係者, 社会教育関係団体, 学校教育関係者, その他本大会のテーマに関心のある方・NPO・学生 ③講演：佐々木英和（宇都宮大学教授）ZOOM開催、分科会はオンデマンド配信 ④350名（予定） ⑤主催：沖縄県教育委員会・沖縄県社会教育委員連絡協議会/共催：名護市教育委員会	教育庁 生涯学習振興課
	133	沖縄県社会教育関係団体等連絡協議会	県内の社会教育関係団体等の連携・協力体制の強化を図り、社会教育の充実及び青少年の健全育成に資する。	①年3回 ②県内社会教育関係団体関係者 ③青少年の健全育成及び連絡会による事業「CGG運動」・「おきなわ地域教育の日」について協議した。 ④県PTA連合会・県高等学校PTA連合会・県婦人連合会等14団体代表者 ⑤主催：沖縄県社会教育関係団体等連絡会 ⑥社会教育関係団体の連携・協力体制の強化。当連絡会において企画された「おきなわ地域教育の日」の普及・啓発。	①年3回 ②県内社会教育関係団体関係者 ③青少年の健全育成及び連絡会による事業「CGG運動」・「おきなわ地域教育の日」について協議する。 ④県PTA連合会・県高等学校PTA連合会・県婦人連合会等14団体代表者 ⑤主催：沖縄県社会教育関係団体等連絡会	教育庁 生涯学習振興課

〔Ⅱ〕平成30年度以降廃止・終了事業、平成31年度（令和元年度）以降新規事業

平成30年度以降 廃止及び終了事業				平成31年度（令和元年度）以降 新規事業				
章節	事業名	事業内容	担当部局課・室名	章節	事業名	事業内容	令和4年度計画 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等⑤ 実施団体	担当部局課・室名
2部2章2節	沖縄県立芸術大学公開講座	伝統文化の創造と発展に寄与するため、県民を対象とした公開講座を開催し、大学の研究成果を還元する。	沖縄県立芸術大学総務課					
2部2章4節	ちゃーがんじゅう地域推進事業	住民が一体となって介護予防等に取り組み、元気に活動している地域等を表彰することで、県民に広く介護予防等の取り組みの重要性をアピールし、健康長寿に関する意識啓発を図る。	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課					
				2部2章5節	みどりを活用した地域環境保全推進事業	地域住民等の環境保全に対する意欲の増進及び協働の取組を推進し、健康で文化的な生活環境を確保することを目的として、緑化技術講習会及び緑化活動団体交流会を開催する。	【緑化技術講習会】 ①10回程度/年 ②地域の緑化活動を行う団体 ③緑化活動の実施に必要な知識や実践力の習得を目的とした講習会 ④150名程度 ⑤(公社)沖縄県緑化推進委員会 【緑化活動団体交流会】 ①1回/年 ②地域の緑化活動を行う団体 ③緑化活動団体間の連携強化を目的とした交流会 ④20名程度 ⑤(公社)沖縄県緑化推進委員会	環境部 環境再生課

平成30年度以降 廃止及び終了事業				平成31年度（令和元年度）以降 新規事業			
章節	事業名	事業内容	担当部局 課・室名	章節	事業名	事業内容	担当部局 課・室名
2部2章5節	(平成30年度) 持続可能な開発のための教育推進事業	学校現場において、持続可能な社会の担い手を育てる観点の教育が行われるよう、ESDについての普及啓発を行う。	教育庁 生涯学習振興課	2部2章5節	(令和3年度～) SDGs達成のための教育推進事業	学校現場において、持続可能な社会の担い手を育てる観点の教育が行われるよう、学校や地域で、SDGsを見据えながら足元の課題解決を大事に、ESDを推進する。 令和4年度計画 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等⑤実施団体 1 ESD研修会開催 ①期間・場所：年度初め、夏季休業中等 ②対象：教育関係者、一般県民等 ③内容方法：対面、オンライン、オンデマンド ④参加者等：初任者、学校教職員、学校管理者等 ⑤成果：教師の資質・能力の向上、ESD・SDGsの理念の浸透、普及啓発につながった。 2 研究指定校設置 ①一年間 ②小5校、中2校、高・特支各1校、計9校 ③各学校の特色に合わせたESDの研究 ④学校・家庭・地域の人びと ⑤各市町村教育委員会や指定校 3 普及・啓発に係る取組 SDGsの視点を組み込んだ教材や実践事例集等を作成する。	教育庁 生涯学習振興課
2部2章8節	子供科学人材育成事業	県内研究機関や児童福祉施設等の連携により、小中高生を対象に、科学に関する教育プログラムを実施する。	企画部 科学技術振興課	2部2章8節	子ども科学技術人材育成事業	大学等をはじめとした県内の研究機関や産業界等の連携により、子ども達の成長段階に応じた科学技術に関する教育プログラムを実施する。 ①令和4年4月～令和5年3月 ②児童（未就学児含む）～高校生 ③成長段階に応じて、科学に触れられる教育プログラムを実施する。 例) 高校生・・・先端科学講座 中学生・・・科学実験講座 小学生高学年・・・科学実験講座（初級編） 小学生以下・・・体験型科学（工作）教室 ④約1,000名 ⑤実施団体については公募により選定する。	企画部 科学技術振興課

平成30年度以降 廃止及び終了事業				平成31年度（令和元年度）以降 新規事業				
章節	事業名	事業内容	担当部局 課・室名	章節	事業名	事業内容	令和4年度計画 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等⑤ 実施団体 担当部局 課・室名	
2 部 2 章 8 節	さとうきび増産体制 構築推進事業	さとうきびの生産性の安定 化・向上対策を図るため、生 産状況の実態等を正確に把 握、各地域の実情に応じた農 作業受託組織等の生産者集 団・組織の強化、試験をする ために要する経費。	農林水産部 糖業農産課	2 部 2 章 8 節	さとうきび増産体制 フォローアップ事業	さとうきび増産を図るため、 生産状況の把握、地域の実情 に応じた農作業受託組織の強 化・支援に要する経費。	<p>(1)指導農業機械士養成研修 ①8月・農業大学校 ②農業機械士（経験年数3年以上） ③指導手法、機械導入利用計画、資材管理、 安全管理等 ④10名 ⑤農業大学校</p> <p>(2)農業機械士養成研修 ①8月・農業大学校、10～11月・離島地域、7 ～2月・農業大学校(学生) ②農業者、区市町村職員、団体職員、学生等 ③機械構造機能、点検整備、効率利用、農作 業安全等 ④本島15名、離島15名 ⑤農業大学校</p> <p>(3)農業機械マナー管理研修 ①8月・農業大学校 ②農業者、区市町村職員、団体職員、農機販 売店職員等 ③農業機械の導入利用計画、運営管理、経済 性、安全性 ④10名 ⑤農業大学校</p> <p>(4)さとうきび収穫機械オペレータ養成研修 ①(基礎研修)12月・本島、離島地域 (実技研修)12月・本島、離島地域 ②農業機械オペレータ、農業機械士等 ③収穫機械操作方法、保守点検、安全対策等 ④基礎研修30名、実技研修30名 ⑤沖縄県糖業農産課</p>	農林水産部 糖業農産課

平成30年度以降 廃止及び終了事業				平成31年度（令和元年度）以降 新規事業				
章節	事業名	事業内容	担当部局 課・室名	章節	事業名	事業内容	令和4年度計画 ①期間・場所②対象者③内容方法④参加者等⑤ 実施団体	担当部局 課・室名
2部2章8節	インターンシップ拡大強化事業	県内には少ない業界・業種での就業体験や県内企業では経験できない高度な技術を要する職種・業種での就業体験ができる県外企業でインターンシップを実施することにより、就業観の醸成や視野の拡大を図り、さらには、早期の進路決定を促すことによって、県内高校生の就職内定率の改善を図る。	教育庁 県立学校教育課					
2部2章8節	インターンシップ拡大強化事業	就業観の醸成や視野の拡大を図り、早期の進路決定を促すことによって、県内高校生の就職内定率の改善を図るための県外インターンシップ	商工労働部 雇用政策課					
3部2章3節	学校招待事業（県立博物館・美術館）	教育現場と連携し出前授業での鑑賞の学習や美術館での鑑賞をとおして、子どもたちの美術作品への関心を高めるとともに、感じたこと思ったことなど対話による表現力を高める。美術館への学校の来館の交通費は美術館が負担する	文化観光スポーツ部 文化振興課 （県立博物館・美術館）					
				4部4節	地域づくりの担い手となる人材育成推進事業	地域を支える社会教育団体が行う社会教育事業に対して補助金を交付することにより、社会教育に新たに求められている地域づくりの担い手となる人材育成を図る	①令和2年度～令和4年度 ②沖縄県社会教育関係団体等連絡会を構成する社会教育関係団体（14団体） ③団体が行う県内社会教育の活性化に寄与する以下の事業に対する補助 ・青少年の健全育成を推進する事業 ・青少年の自然・社会体験活動を推進する事業 ・社会教育を推進する人材を育成する事業 ・地域の安全・安心づくりを推進する事業 ・地域活動を推進、地域人材の育成に関する事業 ⑤県教育委員会	教育庁生涯学習振興課

資料Ⅲ

令和3年度 各課室別 生涯学習関連事業の実施状況

部局名	課名	1部		2部								3部					4部		合計		
		2章		1章	2章								1章	2章				4部			
		①生涯学習の場の活性化	②生涯学習推進の具体的方策	①「一学校支援」を足がかりとした「地域コミュニティづくり」の推進	①家庭教育の充実	②文化活動の推進	③国際交流・協力の推進	④福祉と安全のまちづくり	⑤郷土の自然及び環境学習の推進	⑥健康づくり・スポーツ活動の推進	⑦男女共同参画の推進	⑧ボランテニア活動の推進及び産業に関連した学習機会の提供	①沖縄県生涯学習推進センターの機能充実	①読書活動及び図書館の充実	②青少年教育施設と体験活動の充実	③博物館・美術館等の活用	④平和祈念資料館の活用	⑤公民館等施設の充実		③民間教育機関・企業・NPO等との連携	④社会教育関係団体等との連携
知事公室	広報課											1									1
総務部	総務私学課					1															1
	職員厚生課																				0
企画部	企画調整課																				0
	科学技術振興課											1									1
	地域・離島課																				2
環境部	自然保護課											1									1
	環境再生課											7									7
子ども生活福祉部	福祉政策課												1								1
	高齢者福祉介護課																				5
	青少年・子ども家庭課				7	1															8
	子育て支援課				2																2
	子育て未来政策課				1																1
	障害福祉課																				4
	消費・くらし安全課											1									1
	女性力・平和推進課																2				5
保健医療部	健康長寿課												3								3
	衛生薬務課薬務室												3								3
	地域保健課												2								2
農林水産部	営農支援課																				6
	糖業農産課												1								1
	森林管理課												2								2
	水産課												4								4
商工労働部	産業政策課																				0
	ものづくり振興課																				0
	中小企業支援課																				0
	雇用政策課												1								1
文化観光スポーツ部	観光振興課												1								1
	文化振興課					9										4					13
	スポーツ振興課												4	1							5
	交流振興課							3													3
土木建築部	都市公園課																				1
教育庁	総務課												1								1
	教育支援課			1																	1
	施設課		1																		1
	学校人事課																				0
	県立学校教育課							3					1								4
	義務教育課					2															2
	保健体育課																				0
	生涯学習振興課			1	9					1	1	1	7	5	2		1			2	30
	文化財課							7													7
県警本部	警務部警務課																				0
	生活安全部生活安全企画課												1								1
	交通部交通企画課												1								1
	合計	1	1	1	21	17	7	13	11	13	4	21	7	5	2	4	2	1	0	2	133

令和3年度 各課(室)別 生涯学習関連事業の実施事業名

担当部局課・室名		事業No	事業名	部	章	節	備考
知事公室	広報課	101	おきなわ県政出前講座	2	2	8	
総務部	総務私学課	38	公文書等利用普及事業	2	2	2	
企画部	科学技術振興課	109	子供科学技術人材育成事業	2	2	8	
	地域・離島課	63	水の週間関連事業(水の作文コンクール、広報活動)	2	2	5	
		68	沖縄離島体験交流推進事業	2	2	5	
環境部	自然保護課	73	生物多様性地域戦略事業	2	2	5	
	環境再生課	64	緑化教室	2	2	5	
		65	世界自然遺産普及啓発事業	2	2	5	
		67	緑の少年団体体験交流学習会	2	2	5	
		69	地域環境セミナー	2	2	5	
		70	環境月間記念講演会	2	2	5	
		70	県民環境フェア	2	2	5	
70	気候変動適応策推進事業	2	2	5			
子ども生活福祉部	福祉政策課	93	生涯現役活躍支援事業	2	2	8	
	高齢者福祉介護課	50	かりゆし美術展	2	2	4	
		51	かりゆし長寿大学校運営事業	2	2	4	
		52	おきなわねりんピック	2	2	4	
		53	ねりんピック選手等派遣事業	2	2	4	
		54	ちやーがんじゅう地域推進事業	2	2	4	
	青少年・子ども家庭課	4	家庭児童相談事業	2	2	1	
		7	母子家庭等自立促進事業	2	2	1	
		8	母子家庭等自立促進事業(就労支援講習会)	2	2	1	
		9	母子家庭等自立促進事業(ひとり親家庭等生活向上事業)	2	2	1	
		12	家庭支援相談事業(児童相談所)	2	2	1	
		19	沖縄県青少年フレンドシップイン九州	2	2	1	
		20	沖縄県・兵庫県青少年交流事業	2	2	1	
		48	青年国際交流事業への派遣	2	2	3	
	子育て支援課	13	地域子育て支援拠点事業	2	2	1	
		17	放課後児童クラブ支援事業	2	2	1	
	子育て未来政策課	14	子育て総合支援モデル事業	2	2	1	
	障害福祉課	56	点訳・朗読・要約筆記者養成事業	2	2	4	
		57	手話通訳者養成事業	2	2	4	
		58	点字教室	2	2	4	
		59	視覚障害者パソコン教室	2	2	4	
	消費・暮らし安全課	62	消費者啓発事業	2	2	4	
	女性力・平和推進課	87	男女共同参画センター事業	2	2	7	
		88	日本語等指導者雇用事業	2	2	7	
		89	国際児支援体制強化事業	2	2	7	
		130	教育普及事業(児童・生徒の平和メッセージ展、講座など)	3	2	4	

担当部局課・室名		事業No	事業名	部	章	節	備考
保健医療部	健康長寿課	74	地域活動栄養士研修会	2	2	6	
		75	健康づくり栄養担当者研修会	2	2	6	
		79	いきいき健康づくりヘルシーアップ事業	2	2	6	
	地域・保健課	80	市町村母子健康担当者及び母子保健推進員研修会	2	2	6	
		81	不妊講習会	2	2	6	
	衛生薬務課薬務室	76	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン	2	2	6	
		77	薬物乱用防止指導員研修会	2	2	6	
		78	薬物乱用防止教室	2	2	6	
	農林水産部	営農支援課	98	農業教育支援	2	2	8
102			緑の学園開催事業(オープンキャンパス)	2	2	8	
103			農薬安全対策事業	2	2	8	
104			農業青年リーダー研修会	2	2	8	
106			就農サポート講座	2	2	8	
107			就農支援講座	2	2	8	
糖業農産課		105	さとうきび増産体制フォローアップ事業	2	2	8	
森林管理課		99	林業教室	2	2	8	
		100	森林・林業体験学習会	2	2	8	
水産課		94	少年水産教室	2	2	8	
		95	青年漁業者活動育成事業	2	2	8	
		96	漁業士養成認定事業	2	2	8	
		97	未来のマリンパワー確保・育成一貫支援事業	2	2	8	
		111	インターンシップ拡大強化事業	2	2	8	
商工労働部		雇用政策課	111	インターンシップ拡大強化事業	2	2	8
文化観光 スポーツ部	観光振興課	108	観光学習への支援	2	2	8	
	文化振興課	25	移動博物館	2	2	2	
		26	移動美術館	2	2	2	
		27	体験学習教室	2	2	2	
		33	芸術文化祭	2	2	2	
		34	博物館文化講座	2	2	2	
		35	美術館講座	2	2	2	
		36	常設展、コレクション展、企画展	2	2	2	
		37	沖縄県立芸術大学公開講座	2	2	2	
		41	しまくとぅば普及推進事業	2	2	2	
		91	ボランティア活動事業	2	2	8	
		126	学校連携事業	3	2	3	
		127	学校招待事業(美術館へ行こう)	3	2	3	
		128	ワークショップ(県立博物館・美術館)	3	2	3	
	129	夏休み!博物館学芸員教室	3	2	3		
	スポーツ振興課	82	スポーツ推進委員研究大会	2	2	6	
		83	スポーツレクリエーション祭	2	2	6	
		84	広域スポーツセンター事業	2	2	6	
		86	県立学校体育施設開放事業	2	2	6	
	交流推進課	42	おきなわ国際協力人材育成事業	2	2	3	
43		海邦養秀ネットワーク構築事業(次世代ウチナーネットワーク育成事業)	2	2	3		
44		国際交流・協力ボランティア事業	2	2	3		

担当部局課・室名		事業No	事業名	部	章	節	備考
土木建築部	都市公園課	85	県営公園整備事業	2	2	6	
教育庁	総務課	55	介護講座・介護実践研修	2	2	4	
	教育支援課	2	総合教育情報ネットワーク整備推進事業	1	2	2	
	施設課	1	学校施設の整備	1	2	1	
	県立学校教育課	45	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業	2	2	3	
		46	国際性に富む人材育成留学事業	2	2	3	
		49	沖縄県雄飛プロジェクト	2	2	3	
		110	インターンシップ推進事業	2	2	8	
	義務教育課	10	スクールカウンセラー配置事業	2	2	1	
		24	小・中学生いきいき支援事業	2	2	1	
	生涯学習振興課	3	地域学校協働活動推進事業	2	1	1	
		5	家庭教育支援者研修会	2	2	1	
		6	家庭教育力促進「やーなれー」事業	2	2	1	
		11	親子電話相談事業	2	2	1	
		15	放課後子ども教室推進事業	2	2	1	
		16	家庭教育支援事業	2	2	1	
		18	県立青少年教育施設主催・自主事業	2	2	1	
		21	ファミリーキャンプ	2	2	1	
		22	自然とふれあう親と子の集い	2	2	1	
		23	自然とふれあう家族の集いⅠ～Ⅳ	2	2	1	
		66	SDGs達成のための教育推進事業	2	2	5	
		90	人権教育指導者研修会	2	2	7	
		92	ボランティア養成セミナー	2	2	8	
		112	社会教育主事講習[B]沖縄会場の実施及び充実	3	1	1	
		113	生涯学習・社会教育施設等指導者の養成及び研修	3	1	1	
		114	おきなわ県民カレッジ	3	1	1	
		115	沖縄県生涯学習情報提供システム	3	1	1	
		116	沖縄県遠隔講義配信システム	3	1	1	
		117	生涯学習に関する県民意識や学習ニーズの調査研究	3	1	1	
		118	視聴覚ライブラリーの整備・充実	3	1	1	
		119	離島読書活動支援・充実事業	3	2	1	
		120	「子ども読書の日」記念事業	3	2	1	
		121	図書館情報システム整備事業	3	2	1	
	122	知の拠点パワーアップ事業	3	2	1		
123	公立図書館職員研修会	3	2	1			
124	青少年教育施設職員研修会	3	2	1			
125	青少年教育施設計画訪問	3	2	1			
131	沖縄県公民館研究大会	3	2	5			
132	沖縄県社会教育研究大会	4	-	4			
133	沖縄県社会教育関係団体等連絡会	4	-	4			

担当部局課・室名		事業No	事業名	部	章	節	備考
教育庁	文化財課	28	文化財愛護事業	2	2	2	
		29	組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業	2	2	2	
		30	組踊等教育普及事業	2	2	2	
		31	芸術鑑賞機会提供事業	2	2	2	
		32	次代を担う子どもの文化芸術体験事業	2	2	2	
		39	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展」	2	2	2	
		40	企画展、現地説明会、体験学習、文化講座、出前授業など	2	2	2	
		47	沖縄県高校生国際文化交流派遣事業	2	2	3	
警察本部	生活安全部生活安全企画課	60	地域住民・職域防犯団体との防犯会議の推進	2	2	4	
	交通部交通企画課	61	実践型交通安全教室	2	2	4	

令和3年度 生涯学習推進計画(部・章・節)別 生涯学習関連事業の実施事業名

部	章	節	No	事業名	担当部局課・室		備考			
1	2	1	1	学校施設の整備	教育庁	施設課				
		2	2	総合教育情報ネットワーク整備推進事業	教育庁	教育支援課				
2	1	1	3	地域学校協働活動推進事業	教育庁	生涯学習振興課				
2	2	1	4	家庭児童相談事業	子ども生活福祉部	青少年・子ども家庭課				
			5	家庭教育支援者研修会	教育庁	生涯学習振興課				
			6	家庭教育力促進「やーなれー」事業	教育庁	生涯学習振興課				
			7	母子家庭等自立促進事業	子ども生活福祉部	青少年・子ども家庭課				
			8	母子家庭等自立促進事業(就労支援講習会)	子ども生活福祉部	青少年・子ども家庭課				
			9	母子家庭等自立促進事業(ひとり親家庭等生活向上事業)	子ども生活福祉部	青少年・子ども家庭課				
			10	スクールカウンセラー配置事業	教育庁	義務教育課				
			11	親子電話相談事業	教育庁	生涯学習振興課				
			12	家庭支援相談事業(児童相談所)	子ども生活福祉部	青少年・子ども家庭課				
			13	地域子育て支援拠点事業	子ども生活福祉部	子育て支援課				
			14	子育て総合支援モデル事業	子ども生活福祉部	子育て未来政策課				
			15	放課後子ども教室推進事業	教育庁	生涯学習振興課				
			16	家庭教育支援事業	教育庁	生涯学習振興課				
			17	放課後児童クラブ支援事業	子ども生活福祉部	子育て支援課				
			18	県立青少年教育施設(主催・自主事業)	教育庁	生涯学習振興課				
			19	青少年フレンドシップイン九州	子ども生活福祉部	青少年・子ども家庭課				
			20	沖縄県・兵庫県青少年交流事業	子ども生活福祉部	青少年・子ども家庭課				
			21	ファミリーキャンプ	教育庁	生涯学習振興課				
			22	自然とふれあう親と子の集い	教育庁	生涯学習振興課				
			23	自然とふれあう家族の集いⅠ～Ⅳ	教育庁	生涯学習振興課				
			24	小・中学校いきいき支援事業	教育庁	義務教育課				
			2	2	2	25	移動博物館	文化観光スポーツ部	文化振興課	
						26	移動美術館	文化観光スポーツ部	文化振興課	
						27	体験学習教室	文化観光スポーツ部	文化振興課	
28	文化財愛護事業	教育庁				文化財課				
29	組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業	教育庁				文化財課				
30	組踊等教育普及事業	教育庁				文化財課				
31	芸術鑑賞機会提供事業	教育庁				文化財課				
32	次代を担う子どもの文化芸術体験事業	教育庁				文化財課				
33	芸術文化祭	文化観光スポーツ部				文化振興課				
34	博物館文化講座	文化観光スポーツ部				文化振興課				
35	美術館講座	文化観光スポーツ部				文化振興課				
36	常設展・コレクション展・企画展	文化観光スポーツ部				文化振興課				
37	沖縄県立芸術大学公開講座	文化観光スポーツ部				文化振興課				
38	公文書等利用普及事業	総務部				総務私学課				
39	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展」	教育庁				文化財課				
40	企画展、現地説明会、体験学習、文化講座、出前授業等	教育庁				文化財課				
41	しまくとぅば普及推進事業	文化観光スポーツ部				文化振興課				

部	章	節	No	事業名	担当部局課・室	備考
2	2	3	42	おきなわ国際協力人材育成事業	文化観光スポーツ部	交流推進課
			43	海邦養秀ネットワーク構築事業	文化観光スポーツ部	交流推進課
			44	国際交流・協力ボランティア事業	文化観光スポーツ部	交流推進課
			45	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業	教育庁	県立学校教育課
			46	国際性に富む人材育成留学事業	教育庁	県立学校教育課
			47	沖縄県高校生国際文化交流派遣事業	教育庁	文化財課
			48	青少年国際交流事業への派遣	子ども生活福祉部	青少年・子ども家庭課
			49	沖縄県雄飛プロジェクト	教育庁	県立学校教育課
2	2	4	50	かりゆし美術展	子ども生活福祉部	高齢者福祉介護課
			51	かりゆし長寿大学校運営事業	子ども生活福祉部	高齢者福祉介護課
			52	おきなわねりんピック	子ども生活福祉部	高齢者福祉介護課
			53	ねりんピック選手派遣事業	子ども生活福祉部	高齢者福祉介護課
			54	ちゃーがんじゅう地域推進事業	子ども生活福祉部	高齢者福祉介護課
			55	介護講座・介護実技研修	教育庁	総務課
			56	点訳・朗読・要約筆記者養成事業	子ども生活福祉部	障害福祉課
			57	手話通訳者養成事業	子ども生活福祉部	障害福祉課
			58	点字教室	子ども生活福祉部	障害福祉課
			59	視覚障害者パソコン教室	子ども生活福祉部	障害福祉課
			60	地域住民・職域防犯団体との防犯会議の推進	県警本部	生活安全企画課
			61	実践型交通安全教育	県警本部	交通企画課
			62	消費者啓発事業	子ども生活福祉部	消費・くらし安全課
2	2	5	63	水の週間関連事業	企画部	地域・離島課
			64	緑化教室	環境部	環境再生課
			65	世界自然遺産普及啓発事業	環境部	環境再生課
			66	SDGs達成のための教育推進事業	教育庁	生涯学習振興課
			67	緑の少年団体験交流学習会	環境部	環境再生課
			68	沖縄離島体験交流推進事業	企画部	地域・離島課
			69	地域環境セミナー	環境部	環境再生課
			70	環境月間記念講演会	環境部	環境再生課
			71	県民環境フェア	環境部	環境再生課
			72	気候変動適応策推進事業	環境部	環境再生課
			73	生物多様性地域戦略事業	環境部	自然保護課
2	2	6	74	地域活動栄養士研修会	保健医療部	健康長寿課
			75	健康づくり栄養担当者研修会	保健医療部	健康長寿課
			76	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン	保健医療部	衛生薬務課薬務室
			77	薬物乱用防止指導員研修会	保健医療部	衛生薬務課薬務室
			78	薬物乱用防止教室	保健医療部	衛生薬務課薬務室
			79	いきいき健康づくりヘルスアップ事業	保健医療部	健康長寿課
			80	市町村母子健康担当者及び母子保健推進員研修会	保健医療部	地域保健課
			81	不妊講習会	保健医療部	地域保健課
			82	スポーツ推進委員研究大会	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課
			83	スポーツ・レクリエーション祭	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課
			84	広域スポーツセンター事業	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課
			85	県営公園整備事業	土木建築部	都市公園課
			86	県立学校体育施設開放事業	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課

部	章	節	No	事業名	担当部局課・室		備考
2	2	7	87	男女共同参画センター事業	子ども生活福祉部	女性力・平和推進課	
			88	日本語等指導者雇用事業	子ども生活福祉部	女性力・平和推進課	
			89	国際児支援体制強化事業	子ども生活福祉部	女性力・平和推進課	
			90	人権教育指導者研修会	教育庁	生涯学習振興課	
2	2	8	91	ボランティア活動事業	文化観光スポーツ部	文化振興課	
			92	ボランティア養成セミナー	教育庁	生涯学習振興課	
			93	生涯現役活躍支援事業	子ども生活福祉部	福祉政策課	
			94	少年水産教室	農林水産部	水産課	
			95	青年漁業者活動育成事業	農林水産部	水産課	
			96	漁業士養成認定事業	農林水産部	水産課	
			97	未来のマリンパワー確保・育成一環支援事業	農林水産部	水産課	
			98	農業教育支援	農林水産部	営農支援課	
			99	林業教室	農林水産部	森林管理課	
			100	森林・林業体験学習会	農林水産部	森林管理課	
			101	おきなわ県政出前講座	知事公室	広報課	
			102	緑の学園(オープンキャンパス)	農林水産部	営農支援課	
			103	農業安全対策事業	農林水産部	営農支援課	
			104	農業青年リーダー研修会	農林水産部	営農支援課	
			105	さとうきび増産体制フォローアップ事業	農林水産部	糖業農産課	
			106	就農サポート講座	農林水産部	営農支援課	
			107	就農支援講座	農林水産部	営農支援課	
			108	観光学習への支援	文化観光スポーツ部	観光振興課	
109	子供科学技術人材育成事業	企画部	科学技術振興課				
110	インターンシップ推進事業	教育庁	県立学校教育課				
111	インターンシップ拡大強化事業	商工労働部	雇用政策課				
3	1	1	112	社会教育主事講習[B](沖縄会場)の実施・充実	教育庁	生涯学習振興課	
			113	生涯学習指導者等の養成・研修	教育庁	生涯学習振興課	
			114	おきなわ県民カレッジ	教育庁	生涯学習振興課	
			115	沖縄県生涯学習情報提供システム	教育庁	生涯学習振興課	
			116	沖縄県遠隔講義配信システム	教育庁	生涯学習振興課	
			117	生涯学習に関する県民意識や学習ニーズの調査研究	教育庁	生涯学習振興課	
			118	視聴覚ライブラリーの整備・充実	教育庁	生涯学習振興課	
3	2	1	119	離島読書活動支援事業・充実事業	教育庁	生涯学習振興課	
			120	「子ども読書の日」記念事業	教育庁	生涯学習振興課	
			121	図書館の情報システム整備事業	教育庁	生涯学習振興課	
			122	知の拠点パワーアップ事業	教育庁	生涯学習振興課	
			123	公立図書館職員研修会	教育庁	生涯学習振興課	
3	2	2	124	青少年教育施設職員研修会	教育庁	生涯学習振興課	
			125	青少年教育施設設計画訪問	教育庁	生涯学習振興課	
3	2	3	126	学校連携講座(県立博物館・美術館)	文化観光スポーツ部	文化振興課	
			127	学校招待事業(県立博物館・美術館)	文化観光スポーツ部	文化振興課	
			128	ワークショップ(県立博物館・美術館)	文化観光スポーツ部	文化振興課	
			129	夏休み博物館学芸員教室(県立博物館・美術館)	文化観光スポーツ部	文化振興課	
3	2	4	130	教育普及事業(平和祈念資料館)	子ども生活福祉部	女性力・平和推進課	
3	2	5	131	沖縄県公民館研究大会	教育庁	生涯学習振興課	
4	-	4	132	沖縄県社会教育研究大会	教育庁	生涯学習振興課	
			133	沖縄県社会教育関係団体等連絡協議会	教育庁	生涯学習振興課	

沖縄県生涯学習推進本部構成課・室(令和3年度)

別表第1(第3条関係)	別表第2(第6条関係)	別表第3(第7条関係)
知事公室長	知事公室広報課長	知事公室広報課広報聴班班長
総務部長	総務部総務私学課長 総務部職員厚生課長	総務部総務私学課私学・法人班班長 総務部職員厚生課厚生保健班班長
企画部長	企画部企画調整課長 企画部科学技術振興課長 企画部地域・離島課長	企画部企画調整課総務班班長 企画部科学技術振興課科学振興班班長 企画部地域・離島課地域振興班班長
環境部長	環境部自然保護課長 環境部環境再生課長	環境部自然保護課自然保護班班長 環境部環境再生課環境対策班班長
子ども生活福祉部長	子ども生活福祉部高齢者福祉介護課長 子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課長 子ども生活福祉部子育て支援課長 子ども生活福祉部障害福祉課長 子ども生活福祉部消費・くらし安全課長 子ども生活福祉部女性力・平和推進課長	子ども生活福祉部高齢者福祉介護課在宅福祉班班長 子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課青少年育成班班長 子ども生活福祉部子育て支援課子育て班班長 子ども生活福祉部障害福祉課地域生活支援班班長 子ども生活福祉部消費・くらし安全課消費生活班班長 子ども生活福祉部女性力・平和推進課男女共同参画班班長
保健医療部長	保健医療部健康長寿課長 保健医療部衛生薬務課薬務室長	保健医療部健康長寿課健康づくり班班長 保健医療部衛生薬務課薬務室主幹
農林水産部長	農林水産部営農支援課長 農林水産部糖業農産課長 農林水産部森林管理課長 農林水産部水産課長	農林水産部営農支援課営農担い手班班長 農林水産部糖業農産課さとうきび班班長 農林水産部森林管理課森林企画班班長 農林水産部水産課水産企画班班長
商工労働部長	商工労働部産業政策課長 商工労働部ものづくり振興課長 商工労働部中小企業支援課長 商工労働部雇用政策課長	商工労働部産業政策課総務班班長 商工労働部ものづくり振興課工芸・ファッション産業班班長 商工労働部中小企業支援課支援班班長 商工労働部雇用政策課雇用企画班班長
文化観光スポーツ部長	文化観光スポーツ部観光振興課長 文化観光スポーツ部文化振興課長 文化観光スポーツ部スポーツ振興課長	文化観光スポーツ部観光振興課受入推進班班長 文化観光スポーツ部文化振興課文化振興班班長 文化観光スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興班班長
土木建築部長	土木建築部都市公園課長	土木建築部都市計画・モノレール課公園緑地班班長
教育長	教育庁総務課長 教育庁教育支援課長 教育庁施設課長 教育庁学校人事課長 教育庁県立学校教育課長 教育庁義務教育課学力向上推進室長 教育庁保健体育課長 教育庁文化財課長	教育庁総務課教育企画班主幹 教育庁教育支援課学校予算班班長 教育庁施設課企画財産班班長 教育庁学校人事課健康管理班班長 教育庁県立学校教育課高校教育改革班班長 教育庁義務教育課学力向上推進室主任指導主事 教育庁保健体育課学校安全・給食班班長 教育庁文化財課管理班班長
警察本部長	警察本部警務部警務課長 警察本部生活安全部生活安全企画課長 警察本部交通部交通企画課長	警察本部警務部警務課課長補佐 警察本部生活安全部生活安全企画課課長補佐 警察本部交通部交通企画課課長補佐